



抄 録 集

2022年7月16日(土)～7月17日(日)

オンライン(岩手)

MIS37 岩手大会へ、よぐおでんした

第 37 回医学情報サービス研究大会（MIS37）にご参加いただき、ありがとうございます。

2 回目となる岩手大会は 2020 年のオリンピックイヤー、岩手医科大学矢巾キャンパスに「よぐおでんした（ようこそいらっしゃいました）」と皆様をお迎えすることを楽しみにしておりました。

新型コロナウイルスの猛威により大会始まって以来の延期、初の Web 開催という事態に不安しかありませんが、今できる精一杯の MIS を実現できるよう、実行委員一同知恵を絞って準備を進めて参りました。

右往左往しながらの拙い企画・募集にもかかわらず、佐々木亮平先生の「災害と情報」についての特別講演をはじめ、口演 9 題、ポスター 5 題、11 社による企業展示・プロダクトレビュー、3 つの参加者企画と、興味深い充実した内容で開催できますことに心より感謝申し上げます。

Zoom を介してではありますが、お互いに学び合い、意見交換し、楽しい時間を過ごしていただけたら嬉しく思います。

皆様にとって、MIS37 が実り多く思い出深い大会となることを願っております。

第 37 回医学情報サービス研究大会実行委員会
実行委員長 川崎 かおる



目次

実行委員長挨拶	1
プログラム	3
タイムテーブル	6
懇親会のご案内	7
特別講演	
東日本大震災後の陸前高田市におけるつながり続ける力	8
口頭発表	
A	11
B	15
C	19
ポスターセッション	23
参加者企画	29
プロダクトエキシビジョン、企業展示	33
参加企業連絡先	45
Learning from each other! 医学情報サービス研究大会をより充実させるために	47
実行委員紹介	52
ロゴマークについて	55
大会グッズのご紹介	56
大会関連データ	
医学情報サービス研究大会の組織と運営	58
医学情報サービス研究会会則	59
医学情報サービス研究大会の足跡	60
第38回医学情報サービス研究大会開催のお知らせ	62
大会主催のお願い	63

大会ハッシュタグ #MIS37

岩手おすすめ情報①

岩手のおいしいものと言えば「寄せ豆腐」、なめらかな食感と豆の風味が最高です。何もつけずにそのままいただけます。最近のマイブームは、汲み上げ湯葉が載った雫石の「ゆばざる豆腐」。なかなか無いので、見つけたら即買いです。(川崎)

プログラム

【第1日目】2022年7月16日(土)

9:15～9:30 開会式、幹事会挨拶、事務連絡

9:30～10:45 特別講演

東日本大震災後の陸前高田市におけるつながり続ける力

佐々木 亮平（岩手医科大学教養教育センター人間科学科体育学分野）

10:55～11:55 口頭発表 A（O-01～03）

O-01 傾向スコアを用いた除籍資料予測の試み

橋本 郷史（東邦大学医学メディアセンター）

O-02 医学系大学院博士課程院生への図書館における論文執筆支援

三原 由美子（順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス 学術メディアセンター）

O-03 「この雑誌はハゲタカですか？」への対応 – 「怪しげ」を納得するために –

山崎 むつみ（静岡県立静岡がんセンター医学図書館）

13:00～13:45 プロダクトレビューA（E-01～06）

13:55～14:55 口頭発表 B（O-04～06）

O-04 来館せずに使える図書館サービス満足度調査

佐藤 晋巨、及川 はるみ、河合 富士美、佐山 暁子（聖路加国際大学 学術情報センター 図書館）

O-05 パンデミック初期1年間における情報急増の軌跡：UpToDate と DynaMed

大瀬戸 貴己、鈴木 孝明、島田 祐衣（奈良県立医科大学附属図書館）

O-06 WHO Covid-19 Research Database の紹介と活動 – パンデミック禍でのコロナ関連情報サービス –

眞喜志 まり（東邦大学 習志野メディアセンター）、黒沢 俊典、松田 真美（医学中央雑誌刊行会）

15:05～15:30 ポスター発表（P-01～05）

15:40～16:10 ポスターセッション

16:10～17:10 企業展示待機時間

17:20～19:20 懇親会

【第2日目】2022年7月17日（日）

9:00～10:00 口頭発表 C（O-07～09）

- O-07** 医療系学部初年次多職種連携実習における地域公共図書館との連携
柿崎 真沙子（名古屋市立大学）、田中 里枝子、福田 光輝、和田 彩子（名古屋市鶴舞中央図書館）
- O-08** 岩手県内図書館連携企画展示の取り組み；図書館の医療・健康情報サービスの定着に向けて
川崎 かおる、小山田 翔太（岩手医科大学附属図書館）
- O-09** 町の図書館が取り組む「医療と健康」～企画展示「からだと向き合う」を中心に
吉田 めぐみ（紫波町図書館）

10:10～10:45 プロダクトレビューB（E-07～11）

11:00～11:30 ポスターセッション

11:00～12:00 企業展示待機時間

12:10～13:10 参加者企画（F-01～03）

- F-01** 図書館から発信する医療情報－患者会と行う「がん教育」－
彦田 かな子（がん哲学外来メディカルカフェ シャチホコ記念）、藤坂 康司（名古屋市志段味図書館）
- F-02** 図書館業務データで学ぶ無料統計ソフト EZR の使い方
東邦大学医学メディアセンター統計ソフトヘルプデスク（橋本 郷史、柴田 大輔）、東邦大学医学メディアセンター
- F-03** 5歳からのヘルスリテラシー：「からだ先生のおはなし会」の紹介
岡本 由佳里（岩手大学図書館）

13:10～13:30 閉会式

岩手おすすめ情報② 珈琲

盛岡市のコーヒー消費量は全国4位、購入金額は7位なのをご存知ですか。（※2019-2021年平均家計調査）

クラムボン、いなだ珈琲舎、BOUND COFFEE、機屋、六月の鹿、waltz・・・

市内には素敵なお店が沢山ありますので、ぜひお気に入りを見つけてください♪（關山）

【両日共通】

ポスターセッション

P-01 ジャーナル評価指標の経年変化ー学問分野における Journal Impact Factor の分析をとおしてー

城山 泰彦（順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス 学術メディアセンター）

P-02 高齢者のヘルスリテラシー向上のための教材開発ー成果物の概要ー

三輪 眞木子（放送大学）、佐藤 正恵（千葉県済生会習志野病院）、山下 ユミ（京都府立図書館）、磯部 ゆき江（二松学舎大学）、阿部 由美子（放送大学）

P-03 コロナ禍における初年次図書館演習の工夫

佐藤 菊代、古谷野 ありさ、川崎 かおる（岩手医科大学附属図書館）

P-04 九州・沖縄 EBM 勉強会における研修評価アンケートの分析

水江 愛子（九州・沖縄 EBM 勉強会、福岡大学図書館医学部分館）、平山 紀子（九州・沖縄 EBM 勉強会、久留米大学医学図書館）、阿部 佐和子（九州・沖縄 EBM 勉強会、福岡大学図書館医学部分館）、後藤 可奈子（九州・沖縄 EBM 勉強会、久留米大学医学図書館）、別府 さおり（九州・沖縄 EBM 勉強会、福岡徳洲会病院図書室）、佐藤 正恵（千葉県済生会習志野病院図書室）、橋本 郷史（東邦大学医学メディアセンター）

P-05 JMLA 統計からみるコロナ禍の図書館サービス

大谷 裕（東邦大学医学メディアセンター）

企業展示、プロダクトレビュー

E-01 株式会社カルガージャパン

E-02 NPO 医学中央雑誌刊行会

E-03 株式会社医学書院

E-04 株式会社カーリル

E-05 iJapan 株式会社

E-06 株式会社サンメディア

E-07 EBSCO Information Services Japan 株式会社

E-08 株式会社メテオ

E-09 丸善雄松堂株式会社

E-10 Georg Thieme Verlag KG

E-11 Turnitin Japan 合同会社

タイムテーブル

【第1日目】2022年7月16日(土)

	Zoom ウェビナー	Zoom ミーティング
9:00	8:55～ 接続可能	
	9:15～9:30 開会式、幹事会挨拶、事務連絡	
10:00	9:30～10:45 特別講演	
11:00	10:55～11:55 口頭発表A	
12:00	(休憩)	
13:00	13:00～13:45 プロダクトレビューA	
14:00	13:55～14:55 口頭発表B	
15:00	15:05～15:30 ポスター発表	
16:00		15:40～16:10 ポスターセッション
17:00		16:10～17:10 企業展示待機時間
18:00		17:20～19:20 懇親会
19:00		

【第2日目】2022年7月17日(日)

	Zoom ウェビナー	Zoom ミーティング
9:00	8:40～ 接続可能	
	9:00～10:00 口頭発表C	
10:00	10:10～10:45 プロダクトレビューB	
11:00		11:00～11:30 ポスターセッション
		11:00～12:00 企業展示 待機時間
12:00		12:10～13:10 参加者企画
13:00		13:10～13:30 閉会式

懇親会のご案内



MIS37 岩手大会では、大会 1 日目（7 月 16 日（土））のプログラム終了後 17:20 よりオンライン懇親会を開催いたします。Zoom Meetings ブレイクアウトルームを使用します。

開会直後、ホストが皆さんを各ルームへランダムに振り分けますが、その後は自由に移動しながら会話していただければと思います。

移動の仕方などの操作方法は、マニュアル（参加者用）をご参照ください。

知り合いも少ないし初めての人に話しかけにくいという方は、チャット機能も用意しておりますので、ご活用ください。チャットは同一ルーム内で有効です。

残念ながら対面での開催とはなりませんでしたが、思い思いの飲み物・食べ物をご用意の上、情報交換など交流を深めていただければと思います。

開催日時：7 月 16 日（土）17:20～19:20

開催方法：Zoom Meetings ブレイクアウトルーム

※アクセス先は参加者限定 HP でご確認いただけます。

ルーム紹介：幹事会…幹事会の誰かに会えるかも（空の場合有）

イーハトーブ…岩手の観光動画配信

その他のルームは、宮沢賢治ゆかりの名前を付けましたが、種も仕掛けもございません。

連絡事項：お困りの際は、ブレイクアウトルームを退出し、メインセッションで実行委員にご相談ください。

実行委員会企画
特別講演



東日本大震災後の陸前高田市における つながり続ける力

佐々木 亮平

岩手医科大学教養教育センター人間科学科体育学分野

我が国では 2011 年の東日本大震災（以下、震災）に限らず、これまでに多くの災害が毎年のように起きている。人や地域、時間、時代で災害への対応は変わり、正しい答えはないが、一方で時代や地域性などが異なっても、それらを越えて「人と人とがつながり続ける」ということは、有事においても、平時においても最も重要なことのひとつである。発災直後から何年経っても経験し続ける痛みや生きづらさはどの災害にも共通してある中で、2020 年から全世界に拡大した新型コロナウイルスによりソーシャル・ディスタンス、フィジカル・ディスタンスが叫ばれ、人と人とがつながり続けることが難しい状況となり、改めてその重要性と必要性を認識しつつも、理想と現実の中で葛藤している。

陸前高田市（以下、市）では震災後、全国からの応援チームや他分野の関係者を含む保健・医療・福祉関係者ととともに、地域の NPO 等の関係者、地域住民が一堂に会する陸前高田市保健医療福祉未来図会議（2018 年度から未来図会議に名称変更）を開催してきた（2022 年 5 月現在 94 回開催）。被災直後から市の保健医療福祉の現状と課題を共有し、復旧・復興に向けた直近の対策から、5 年後、10 年後の未来像も議論する「理解と共感の場」として機能してきた。しかし、震災直後は、場があり、モノがあり、人がいる、そしてその人の経験や関係性があることを前提とした、それまでの常識では対応できない災害対応が求められ、とりわけ「情報を共有する」こと自体が困難な状況になっていた。ゆえに、それぞれの立場や所属、資格等はあれども、できる人ができることを、「いいか」「わるいか」ではなく、し続けるより他はなかった。

震災から 11 年が経過したが、この間も見える被災、見えない被災、見えない孤立が市の中にあることを共有し続け、震災翌年から「はまってけらいん、かだつてけらいん運動＝集まって、語りましょう運動」を提唱し、人と人とがつながることの大切さを確認、発信し続けている。コロナ禍においてつながり続けることが難しい今だからこそ、お互いに声をかけあい、対話し続けることができる環境を改めて大切にしていきたい。

講演者プロフィール

岩手医科大学 教養教育センター人間科学科体育学分野 助教

現在取り組んでいる研究

東日本大震災後の被災地域における社会活動参加に関連する要因：the RIAS Study

資格

夫、父（子4人）、看護師、保健師、健康運動指導士、精神保健福祉士、養護教諭1種、第1種衛生管理者、(社)全日本ノルディック・ウォーク連盟 ノルディック・ウォーク公認指導員

学歴（最終）

岩手県立大学大学院 看護研究科 博士前期課程修了（看護学修士）

職歴

1998年 岩手県内初男性保健師として岩手県久慈保健所に採用、
岩手県大船渡保健所を経て、陸前高田市へ出向
2010年 日本赤十字秋田看護大学 看護学部看護学科
2012年 陸前高田市地域包括ケアアドバイザー
2014年 岩手医科大学 いわて東北メディカル・メガバンク機構
2016年 岩手医科大学 医学部衛生学公衆衛生学講座
2018年 陸前高田市はまかだ運動推進アドバイザー
2020年 岩手医科大学 教養教育センター人間科学科体育学分野

委員等

特定非営利活動法人日本健康運動指導士会岩手県支部支部長
岩手県健康いわて21プラン推進協議会委員
岩手県自殺対策推進協議会委員

口頭発表 A



岩手おすすめ情報③ みちのくあじさい園（一関市）

毎年、紫陽花の開花時期に合わせて「みちのくあじさいまつり」が開催されます。東京ドーム4個分の敷地内に咲く色とりどりの紫陽花はなかなかの渋さです。期間の終わりにしか見られない「あじさい池」も見事です。（2022年は6/25～7/25開催）（古谷野）

傾向スコアを用いた除籍資料予測の試み

橋本郷史

東邦大学医学メディアセンター

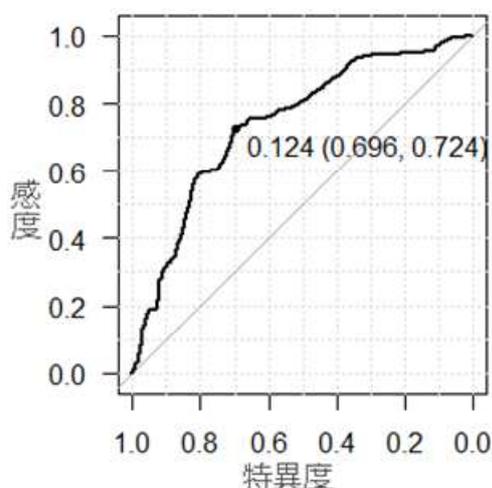
【目的】 除籍のための資料選定には多くの労力がかかる。除籍すべき資料をある程度機械的に選定する方法があれば業務上の負荷が軽減できる。発表者は2021年のJMLAの学術集会の発表で、蔵書データに含まれる資料の要素情報から、除籍のされやすさが分かることを報告した。例えば、ある資料が改訂版であれば改訂版でない資料と比較して、同期間内における除籍の可能性がX倍になる、といった具合である。一方で、実際に各資料が除籍の対象となるかを蔵書データから予測できるかどうかについては不明であったため、今回の研究ではその点について確認を行った。

【方法】 分析対象は、2011年度から2020年度に本学の医学部図書館で購入した資料の内、2011年以降に出版された図書資料とした。2020年度末までの除籍実績でロジスティック回帰分析を行い、資料の持つ要素が除籍にどのように影響するかを数値化し、各資料の除籍されやすさ(傾向スコア)を算出した。続いて、2020年度末までの除籍とこのスコアとの関係をROC曲線によって確認し、除籍判断のためのカットオフ値を決めた。最後に、このカットオフ値を使って2021年度の除籍を予測した場合の的中率を確認した。ロジスティック回帰分析は除籍をアウトカムとし、説明変数には、資料の登録から2021年3月31日まであるいは除籍されるまでの日数(生存時間)に加え、前回の研究の結果を考慮し次の要素を用いた。「改訂版である」「複本である」「本学教職員の著作である」「複数人による著作である」「NDC491, 496, 499番台の資料である(それぞれ)」。

【結果】 分析の対象は14,442件で、この内2020年度末までに除籍された資料は1,611件、2021年度に除籍された資料は524件だった。前述のモデルで多変量のロジスティック回帰分析を行った結果は左下の表のようになった。ここから計算した傾向スコアと2020年度末までの除籍との関係をROC曲線で表現したものが右下の図である。曲線下面積は0.741(95%CI 0.729-0.754)となった。感度と特異度の和が最大となる傾向スコア0.124をカットオフ値として2021年度の除籍を予測した場合、この値以下となる資料は分析対象の約7割で、その陰性的中率は98%だった。また、この値より大きい場合の陽性的中率は9%だった。

この結果をどのように解釈すればよいのかについて、また、この手法の限界と応用可能性について、講演内で報告する。

要素	オッズ比 (95%信頼区間)	
(切片)	0.05 (0.04-0.06)	
生存時間(1年)	0.96 (0.94-0.98)	
改訂版である	4.05 (3.62-4.53)	
複本である	2.65 (2.32-3.03)	
東邦教職員著作	0.58 (0.46-0.72)	
複数人著者	1.54 (1.28-1.84)	
分類	491(基礎医学)	0.98 (0.82-1.17)
	496(眼科・耳鼻)	0.68 (0.48-0.98)
	499(薬学)	3.41 (2.31-5.03)



医学系大学院博士課程院生への図書館における 論文執筆支援

三原 由美子

順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス 学術メディアセンター

I. 背景と目的

業務のなかで、医学系大学院博士課程院生（以下、博士課程院生）の問合せに応じるうち、博士課程院生の論文執筆における課題に興味を持ったことが、本研究のきっかけである。博士課程院生が抱える論文執筆に関わる課題や問題点の実態を明らかにし、図書館による支援のあり方を検討することを目的とした。事例として順天堂大学を取り上げた。

II. 研究方法

論文執筆時における課題の実態と、図書館に希望する支援を尋ねる質問紙調査を、2021年度在籍の博士課程院生全 656 名を対象に実施した。さらに、質問紙調査結果の内容を具体的に尋ねるため、半構造化インタビュー調査を 10 名に実施した。

III. 結果と考察

質問紙調査を全 656 名対象に実施した結果、74 名から回答を得た。回答率は 11.3%であった。研究分野は、内科系（45.9%）が多く、基礎医学系（31.1%）、外科系（23.0%）と続いた。先行研究調査に困難がある者は 51%あり、詳しく利用法を知りたいデータベースには 89%が PubMed を挙げていた。図書館に望む支援は、最多が講習会開催で、その内容は論文執筆に役立つデータベースの使い方やアクセプトされる論文の書き方であった。

質問紙調査結果の内容を具体的に尋ねるため、半構造化インタビュー調査を 10 名に実施した。その結果、調査対象者が抱える課題として 7 つの類型を見出した。具体的には、①網羅的な先行研究調査への不安、②課題を相談できる指導教員との信頼関係が構築できている、③指導教員との信頼関係に不安がある、④論文の構成や英語表現という課題解決対策の体得への希求、⑤査読つき雑誌に受理される要素を把握しながら実際に論文執筆に反映させることの難しさ、⑥投稿先選択についての知識が充分でない、⑦引用索引データベースが使いこなせないであった。図書館に望む支援は、「論文を査読誌に通すのに必要なあらゆる情報の提供」、「研究テーマに則したデータベース検索法の講習会開催」であった。

論文を査読誌に通すのに必要なあらゆる情報には、「学位論文執筆に必要な情報を集め、学内で一括に集めて提示すること」への期待も含まれると考える。これには 2 つの側面があり、1 つは支援情報の在りかを一括し集約すること、もう 1 つは見えるかたちで情報を発信する必要があることといえる。さらに、望ましい講習会のあり方を検討する事例として、オーダーメイド講習会を取り上げた。事前の聞き取り調査を詳細に行い、実践演習を組み込んだ結果、異なる研究分野においても活用できる可能性が見込まれた。論文執筆支援を継続するためのあり方の一端が明らかになったと考えられる。

「この雑誌はハゲタカですか？」への対応

－「怪しげ」を納得するために－

山崎 むつみ

静岡県立静岡がんセンター医学図書館

2018年の毎日新聞に「ハゲタカ雑誌」の記事が掲載されてから、「ハゲタカ雑誌」は一般的にも知られるようになり、今では、フリーのイラストを提供している「いらすとや」にもハゲタカのイラストが掲載されている。一般メディアの報道だけでなく、日本医学会や、職場での注意喚起も多くなり、その結果、医学図書館へ投稿先相談が寄せられるようになった。

雑誌が **Predatory Journal**（以下、ハゲタカ雑誌）かどうか？という問い合わせには、ある程度、明確に根拠を持って返答をしなければならない。判断のためには、さまざまなチェックリスト、指標などが存在している。しかし、それらの指標やチェックリストには、実際のその分野に属していないとわからないことなどもあり、図書館担当者には判断ができないチェック項目や指標もある。加えて、「**Oncotarget** 誌」のようにインパクトファクターがついている安全な雑誌と思っていたところ、突然「ハゲタカ雑誌」扱いとなった雑誌もあることから、依頼者からは暗に「**Oncotarget** のようにはならない投稿先」をもとめられるようになった。そこで、従来提示されている「ハゲタカ雑誌」判断のツールであるチェックリスト、団体への加盟状況などに加え、文献書誌データベース等を使い、ライブラリアンとして「怪しげ」であることを納得した上で医療者に報告するようにした。

この作業を行う中では、チェックリストに指定された条件通りの記述が存在すること、「怪しげ」にもいくつかのパターンがあること、「ハゲタカ雑誌」への投稿勧誘と「悪徳商法」との共通点、寄せられる「ハゲタカ雑誌かどうか」の問い合わせの本当の意味、また、「ハゲタカ雑誌」とは本当はなにか？など、改めて確認することとなった。

本発表では、このように実際に対応し、遭遇した事例について報告をする。

口頭発表 B



岩手おすすめ情報④

岩手県は日本三大杜氏の一つ南部杜氏発祥の地であり、現在は 22 蔵が美味しい日本酒を醸造しております。なかでもおすすめは「赤武酒造（復活蔵）」。もともと岩手県沿岸の大槌町にありましたが東日本大震災で蔵が全壊。盛岡で若い杜氏の元、再生、復活した酒蔵です！（佐々木）

来館せずに使える 図書館サービス満足度調査題

佐藤晋巨、及川はるみ、河合富士美、佐山暁子
聖路加国際大学 学術情報センター 図書館

コロナ渦を機に提供を開始した非来館型サービスに対する満足度調査（2020年11月実施）の結果を報告する。サービス対象は学生、サービス内容は、資料の送付、学外からの電子資料利用支援、オンライン相談である。サービスの利用と満足度、改善要望を把握し、必要であれば今後も継続して提供できるサービスに改善することを目的とし、無記名のwebアンケート調査を行った。

パンデミック初期 1 年間における情報急増の軌跡：

UpToDate と DynaMed

大瀬戸貴己、島田祐衣、鈴木孝明
奈良県立医科大学附属図書館

I. 背景

2020 年はじめから、新型コロナウイルス感染症が爆発的に拡がり、2020 年 3 月 11 日、WHO はパンデミック（世界的な大流行）を宣言した。新型コロナの感染拡大に伴い、全国各地の感染者数、感染防止対策、海外の状況など、関連する大量の情報が日々流れた。爆発的に増加する情報の中で、どれを選び、どう自身の行動に繋げるのか、難しい選択を迫られる日々が続き、パンデミック初期は特に、医療従事者はもちろん、市井の人も、不安を抱え悩みながら生活を回す混沌とした状況であった。

臨床支援ツールは、豊富な情報源を基に作成され、質の高い情報を手間なく入手できる二次資料であり、多くの医療従事者が利用している。またその更新スピードは非常に速い。新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行という未曾有の事態で情報が錯綜する中において、臨床支援ツールはどのように信頼のおける情報を提供するのか、パンデミック初期の情報提供について、当館で契約している二種の臨床支援ツール「UpToDate」と「DynaMed」を追跡した。

II. 調査方法

二種の臨床支援ツール「UpToDate」と「DynaMed」について、それぞれで扱う新型コロナウイルス感染症のトピック「COVID-19 (Novel Coronavirus)」、「Coronavirus disease 2019 (COVID-19)」が更新されているかを出勤時に確認し、更新されていれば保存した。なお、臨床支援ツールには電子ファイルへの出力機能がなく印刷のみのため、全文を Word に切り貼りしファイル保存するという古典的な方法を取った。期間はパンデミック宣言時期の 2020 年 3 月から 2021 年 3 月までの 1 年間とした。

III. 結果

UpToDate は Version20 から Version137(117 版増)に、DynaMed は 6190 語から 53288 語(47098 語増)になり、それぞれ大量の更新や加筆があったことがわかる。なお、2022 年 6 月 3 日時点での同トピックは、UpToDate で Version184 (47 版増)、DynaMed では 30374 語(22914 語減)であり、パンデミック初期 1 年間と比較して、更新頻度の落ち着きやトピックの分岐が推測される。詳しい調査結果については当日の発表で報告する。

WHO Covid-19 Research Database の紹介と活動

ーパンデミック禍でのコロナ関連情報サービスー

眞喜志まり¹⁾、黒沢俊典²⁾、松田真美²⁾

1) 東邦大学、2) 医学中央雑誌刊行会

未曾有の感染症が流行する中での暮らしが始まって 3 年、私たちの生活は未だに新型コロナウイルスの影響を大きく受けている。全く情報がなかった 2019 年の流行当初に比べると、世界中の研究者や医療従事者が情報を共有しながら、この事態に対応するためこのウイルスの特性や感染予防・治療策を検証してきた。また、いち早い情報流通ルートとしてプレプリントも活用されるようになり、特に新型コロナウイルスに関する研究情報は爆発的な量とスピードで流通している [1]。

この中で 2020 年 1 月初旬、WHO Library and Digital Information Networks Librarian の Tomas Allen John 氏 (以下、Tomas) と Jose Garnica 氏が新型コロナウイルスに関する情報収集を開始し、同月末には WHO ホームページ上にリストで提供するようになった。その後同年 4 月、BIREME と共同で、検索可能な二次情報データベース (一部一次情報も含む) として WHO Covid-19 Research Database [2] を開発した。そして、Tomas 氏による Medlib-L へのこのデータベース (以下、DB) の紹介ポストをきっかけに WHO Library の活動を知り、日本からの報告も世界に共有できないかと考え、日本の医学研究情報を二次情報 DB として整備している医学中央雑誌刊行会の松田氏と黒沢氏に協力を相談した。また、Tomas 氏らにコンタクトを取った。その後から現在まで、WHO Independent Consultant の Kavita 氏への書誌提供を亀の歩みながら続けていくことができた。

本発表では、WHO Covid-19 Research Database の活動および特徴について紹介し、書誌提供に至った経緯や考えについて報告する。

【謝辞】 不慣れな書誌作成作業をフォローしてくださり、作成した書誌の確認・修正の後 WHO Covid-19 Research Database へのアップロード作業をされている Kavita U.Kothari 氏 (Independent Consultant for the World Health Organization) に、この場を借りて感謝の意を表します。また、会としての新型コロナ関連情報サービスを始める準備もある中で先行して、さらに Paywall を越えて貴重な書誌情報の提供にご協力くださっている医学中央雑誌刊行会に心より感謝申し上げます。

1. Khan H, Gupta P, Zimba O, Gupta L. Bibliometric and Altmetric Analysis of Retracted Articles on COVID-19. J Korean Med Sci. 2022 Feb 14;37(6):e44.
2. WHO Library. the WHO Covid-19 Research Database : Global research on coronavirus disease (COVID-19) [cited]. <<https://search.bvsalud.org/global-literature-on-novel-coronavirus-2019-ncov/>>.

口頭発表 C



岩手おすすめ情報⑤

自宅から1時間以内で行ける温泉がいくつもあります。他県の友人に言われるまで気づきませんでした。日帰りで源泉かけ流しに通えるなんて、贅沢な環境ですね。コロナ禍でなかなか行けなくなりましたが、お勧めは網張温泉、松川温泉です。(川崎)

医療系学部初年次多職種連携実習における地域公共 図書館との連携

柿崎真沙子¹⁾、田中里枝子²⁾、福田光輝²⁾、和田彩子²⁾

¹⁾ 名古屋市立大学、²⁾ 名古屋市鶴舞中央図書館

【医療系 3 学部連携地域参加型学習】

名古屋市立大学では、医学部医学科、薬学部薬学科、看護学部看護学科の医療系 3 学科の 1 年生を対象に学部を横断して 9 人前後 27 グループに編成した地域参加型学習を実施している。この実習科目は医療系 3 学部の必修科目となっており、前期期間に基本的な医療技能に関する講義および実習、早期臨床体験を、後期期間にグループ学習を行っている。グループ学習では 27 の地域・機関にご協力いただき、その地域・機関におけるニーズや課題を発掘し、それらを解決していくグループ学習を実施している。本報告では、2021 年より連携を開始した、全国的にも珍しい公共図書館との事例について報告する。

【名古屋市鶴舞中央図書館】

2021 年度より連携を開始した鶴舞中央図書館は、市内に 21 館ある市立図書館の中で最大の蔵書を持つ。実用書、児童図書、CD、ビデオなどの視聴覚資料、地域に関する資料の他、診断ガイドラインなど健康・医療系の蔵書も豊富に有している。また、視覚障害者向けの資料を提供する点字文庫をもち、調査・研究に対応したレファレンス・サービスにも重点を置くなど、様々な取り組みを行っている公共図書館である。

【鶴舞中央図書館でのグループ活動】

学生は 2021 年 6 月に、図書館を訪問し、施設見学および職員への聞き取りを行った。その後学生同士で議論し、どのような取り組みができるか検討した。最終的に、グループの学生が 1 人 1 冊ずつ、小学生、中高生、大学生以上のそれぞれの年代に薦める健康・医療系図書を紹介する展示コーナーを企画・展示するという取り組みを行った。各学生は 1 人 3 冊推薦図書を選出し、その中から重複を除外し、1 人 1 冊計 9 冊の推薦図書を挙げた。その後、画用紙やカラーペン、折り紙などを利用し、自分の推薦する図書の紹介をするポップを作成し、それらと実際の図書資料を組み合わせた展示コーナーを、2021 年 12 月 11 日から 28 日の間展示した。

【結び】

本事例は、本学における医療系実習での初の公共図書館との連携あり、過去の活動事例を参考にすることも難しかったが、利用者アンケートや学生の実習後評価では概ね好評であった。公共図書館は、開かれた地域施設であり、医療・健康情報も多く保有することから、医療系学部教育との連携は大変重要であると考えており、今後も様々な場面で連携を進めていきたい。

岩手県内図書館連携企画展示の取り組み

－図書館の医療・健康情報サービスの定着に向けて－

川崎かおる，小山田翔太
岩手医科大学附属図書館

I. 背景と目的

2016年より岩手県公共・大学・専門図書館等連絡協議会におけるミニ研修、県内図書館連携企画展示など県内図書館の医療・健康情報サービス支援に取り組んできた。

中でも連携企画展示は、図書館等での医療・健康情報取扱いの敷居を低くすることを念頭に「医療情報提供サービスの定着」「図書館間の連携」などの目的を掲げ、年2回の開催を継続している。

II. 実施方法

- ① 過去の参加館アンケートを参考に、次年度テーマ、日程を検討 [前年11月]
- ② 岩手県公共・大学・専門図書館等連絡協議会で提案 [当年2月]
- ③ 学内WGで内容・役割分担を決め、資料作成等準備開始 [開催2カ月前]
- ④ 県内図書館にポスター、実施要項案を示し、参加館を募集 [開催1.5カ月前]
- ⑤ 掲示用資料等を配布 [開催3～4週間前]
- ⑥ 各館で展示準備
- ⑦ 各館展示リスト、展示風景の共有 [期間中随時]
- ⑧ アンケート実施 [終了後]

III. アンケート結果から

- ・ 参加館：毎回ほぼ半数が常連館、残りはテーマにより変化している。
- ・ アンケート回収率：当初はほぼ100%だったが微減しており、要望により開催期間に幅を持たせたことの影響も考えられる。
- ・ 企画・内容への満足度は高位を維持している。
- ・ 参加館間で展示方法や蔵書の情報が共有でき、ステップアップにつながっている。

IV. 成果と課題

参加館ごとに地域の特色を取り入れたり、他部署・機関とうまく連携したりした工夫をしており、その内容を共有できていること、これまで苦手意識の強かった医学分野の選書、取り扱いへのハードルが多少なりとも下がって来ていることが、最大の成果と思われる。

また、本学への選書の相談やレファレンスの問い合わせ、相互貸借依頼などが見受けられ、連携による医療・健康情報サービスの前進が伺える。

更に参加館のすそ野を広げること、企画段階から各館が意見を出し合い本学がサポートに回るような体制づくりが課題として挙げられる。

町の図書館が取り組む「医療と健康」

－企画展示「からだと向き合う」を中心に－

吉田 めぐみ

紫波町図書館

1 背景

紫波町図書館は、町の課題を取り上げる月替わりの企画展示の中で、2017年から町の医療と健康をテーマとした展示を続けており、今年度までに「認知症」「がん」「心の不調」「感染症」「在宅医療」「発達障害」の6つのテーマに取り組んできた。

企画展示のテーマは、①町に今なにが起こっているか ②なにが必要か ③今後の町の展望 を主軸に決められるが、医療と健康について取り組むこととなったきっかけは、町民が身近な図書館で得たい情報とは何かということに向き合ったことによる。医大図書館ではない当館ならではの情報提供のあり方は、当事者が正しい医療健康情報にたどり着く支援に加え、相談先や支援制度など地域事情の発信、さらに当事者だけでなく周囲の理解を深めてより暮らしやすい町へと変化を起こすものであると考え、企画展示に取り組むこととなった。

2 方法

展示では、町の担当部署や患者会などのインタビューやおすすめ図書、相談方法のチャート表、全国の先進事例などを紹介する。準備の過程で、関係者への取材を重ねながら、町民に必要な情報は何か、町に足りないものは何か、などを明らかにしていく。資料に関して岩手医大付属図書館や、専門家に助言をいただくことも多い。展示の結果、相談会や講演会、介護用具の体験会などへ発展することもある。

3 効果

目に見える効果として、「認知症」展示で町内に認知症カフェが無いことを知った方の働きかけにより、紫波町で認知症カフェが定期開催されるようになった。「在宅医療」展示では、ACPへの関心が高まり、地元の医療従事者グループと連携してACPカード体験会の開催へとつながった。また、取材をきっかけに専門家や関係者と図書館が結びつくことにより、日頃のレファレンスサービスの充実につながっている。

ポスターセッション



岩手おすすめ情報⑥ 盛岡手づくり村

・岩手の伝統工芸品やご当地食の工房があります。おすすめは「ぴょんぴょん舎」の冷麺作り体験、「染屋たきうら」の藍染教室です。藍染めのハンカチと手ぬぐいは、その色合いが美しいだけでなく世界でただひとつしかないオリジナルの柄になるので愛着が沸きますよ。(佐藤)

・その名のとおり、岩手の「手づくり」を見て、食べて、体験できる施設です。委員イチオシは南部鉄器の工房見学。溶けて真っ赤に輝く鉄と、飛び散る火花は大迫力で見惚れてしまいます。その他、盛岡冷麺や南部せんべい、陶器、民芸品等々、各種手作り体験もできます。(古谷野)

ジャーナル評価指標の経年変化

— 学問分野における Journal Impact Factor の分析をととして —

城山泰彦 (KIYAMA Yasuhiko)

順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス 学術メディアセンター

I. 背景と目的

Journal Citation Reports (JCR)” に掲載されるジャーナルの評価指標 Journal Impact Factor (JIF)” の算出方法が、2021年6月公開の2021年版から変更された。収録範囲が Web of Science Core Collection 全体のジャーナル引用索引に拡大されたこと、そして Arts & Humanities Citation Index (AHCI) と Emerging Sources Citation Index (ESCI) を含めたことで、収録数が 70% 以上増加したことが挙げられる。その影響によるためか、JIF2020 を初めて確認した時に、例年の JIF と比べて数値がとてま大きくなっている印象を受けた。教員から同様の質問が寄せられたこともあり、JIF2020 がどの程度変化したのか、そして学問分野による傾向はみられるのか分析した。

II. 調査方法と調査項目

Science Citation Index (SCI) の掲載分野を対象に、JIF2003 から JIF2020 のデータを揃う 170 分野を調査対象とした (名称変更された分野は統合)。そして分野に収録される雑誌の JIF 中央値を対象として、2003 年版から 2020 年版までの傾向を分析した。同様に 170 分野を大きく 11 の学問分野にまとめたうえで、学問分野における傾向を確認した。

III. 結果と考察

170 分野の JIF 中央値を、JIF2003 の値を 100% とした経年変化で確認したところ、JIF2020 までの 17 年間で 277.9% に増大していた (図 1. JIF の変化)。そして疑問のとおり JIF2019 から JIF2020 にかけて、例年より大きい増加傾向を確認できた。

学問分野別にみると「工学 478.6%」が最大で、Nature” や “Science を収録する「総合科学 435.1%」と「化学 355.3%」の 3 分野の増大が大きい。医学分野の「基礎医学 216.5%」と「臨床医学 261.2%」は平均を下回るが、JIF2003 の値が高めであるため、増加割合は低めにとどまったと考えられる。170 分野では工学の「海洋工学 1,293.8%」が最大で、上位 20 分野のうち 15 分野を工学が占めた。最も増加率が低い分野は、生物学の「発生生物学 110.3%」であった。

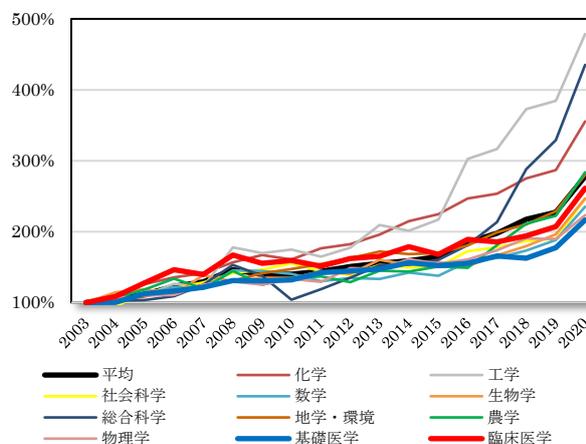


図 1. JIF の変化 (2003 を 100% として)

高齢者のヘルスリテラシー向上のための教材開発

－成果物の概要－

三輪眞木子¹⁾、佐藤正恵²⁾、山下ユミ³⁾、磯部ゆき江⁴⁾、阿部由美子¹⁾
放送大学¹⁾、千葉県済生会習志野病院²⁾、京都府立図書館³⁾、二松学舎大学⁴⁾

本研究は、高齢者のヘルスリテラシー向上を促す方策として教材を開発した。ポスター発表では、教材開発に至るまでの研究プロセス、開発した教材の紹介、および教材の評価とインストラクションの効果検証の方法を述べる。

背景と目的：高齢化が進む日本では、高齢者層の健康管理が重要課題となっており、健康寿命の延長方策が求められている。本研究は、これまで十分論じられてこなかった医療情報アクセスにおける年齢によるデジタルデバイドに着目し、高齢者のヘルスリテラシーとインターネット利用に相関があることを検証した。また、高齢者のヘルスリテラシー向上を促す方策として教材を開発し、この教材を用いたインストラクションの効果を検証する。

研究の方法と結果：高齢者のヘルスリテラシーと健康寿命の関係を探求するため、医療者計 10 名を対象に、2020 年 1 月～6 月に、対面、Web、電話により半構造化インタビューを実施した。インタビューの内容分析結果から、健康維持への取組に男女差があること、健康医療情報の収集にインターネットを利用する高齢者が増えていること、仕事を辞めた後、地域と関連しない孤立男性に課題があることが明らかとなった。

医療者のインタビュー結果に基づき調査票を設計し、2021 年 1 月～10 月に 65 歳以上の高齢者を対象にアンケート調査を実施し、102 名から有効回答を得た。回答を統計的に分析した結果、5%水準で、健康医療情報の入手にインターネットを使う人は使わない人より、ヘルスリテラシーレベルが高いこと、ヘルスリテラシーレベルには年齢による有意差は認められないこと、ヘルスリテラシーの一要素である「情報を理解して人に伝えることができる」について、10%水準で女性が男性より高い有意傾向が認められることが明らかになった。

成果物の設計と評価：医療者インタビュー調査と高齢者アンケート調査結果に基づき、7 章からなる教材を設計した。各章の表題を以下に示す。

第 1 章：ヘルスリテラシーは健康維持に欠かせない

第 2 章：ネット社会からこぼれおちないために情報格差をなくす

第 3 章：図書館で健康・医療情報を調べる

第 4 章：インターネットで健康・医療情報を調べる

第 5 章：専門的な知識を得るために医学情報を探す

第 6 章：社会や家族・地域とつながる

第 7 章：健康を維持する行動を心がける

教材の評価とインストラクション効果の検証：放送大学の双方向 Web 授業で本教材を採用し、受講生の学習目標達成度を測定と自由記述による教材評価を実施する。

コロナ禍における初年次図書館演習の工夫

佐藤菊代、古谷野ありさ、川崎かおる
岩手医科大学附属図書館

1. 背景

2020年の年明け、国内でも新型コロナウイルス感染症患者の発生が認められ、感染力の強さや拡大の早さ、重症化リスクといった様々な懸念事項から、従来の対面講義や実習方法の見直しが必要となった。

岩手医科大学附属図書館では、全学部（医・歯・薬・看護学部）新入生が履修する「多職種連携のためのアカデミックリテラシー」の一講義として、資料の探し方を指導する図書館演習を実施している。スライド説明と図書館内での資料探索演習を組み合わせた従来の構成では、館内での密集・密着・資料の共有が発生し感染リスクが高まるため、演習に代わる座学での講義を検討した。

2. 演習内容の変更

コロナ禍以前の図書館演習では、下記2つの課題を1人1題ずつ演習させることで図書の探し方を身につけさせていた。

(A)配置場所と請求記号を基に書架から図書を探す

(B)与えられたテーマ（疾患名）について詳しく書いてある図書を探す

座学では、(B)に比重を置き「NLMC分類表（米国国立医学図書館分類表）を使用してテーマに関連するキーワードから図書を探す」練習問題を追加した。また、OPACでのキーワード検索結果を基に館内の図書を手に取るまでの一連の流れを1本の動画にして上映し、座学でも図書館内の様子や、図書を探す手順が分かりやすいように工夫した。

3. 効果

OPAC検索を前提としたキーワード集めに比べると、NLMC分類表から図書のありかを予想する手段はシンプルな分、学生が理解しやすい。

そして、従来の演習時における(B)課題は、出題テーマが1人ずつ異なるため難易度の差が生じることや、館員から学生へ個別指導する方法の統一化が困難である等、解決が難しい面があった。動画の上映では誰もが同じ内容を一通り疑似体験することが可能であり、学生対象に限らず、職員等への利用指導としても活用できる利点が見えてきた。

4. 展望

いずれコロナ禍が収束し従来の館内演習が可能となる際には、上記の工夫を取り入れながら、より分かりやすい図書館演習を目指したい。

九州・沖縄 EBM 勉強会における 研修評価アンケートの分析

水江愛子^{1),2)}、平山紀子^{1),3)}、阿部佐和子^{1),2)}、後藤可奈子^{1),3)}、別府さおり^{1),4)}、
佐藤正恵⁵⁾、橋本郷史⁶⁾

¹⁾九州・沖縄 EBM 勉強会、²⁾福岡大学図書館医学部分館、³⁾久留米大学医学図書館、
⁴⁾福岡徳洲会病院図書室、⁵⁾千葉県済生会習志野病院図書室、
⁶⁾東邦大学医学メディアセンター

1. 背景

九州・沖縄 EBM 勉強会(以下、当会)は、2019年に福岡県で開催された第36回医学情報サービス研究大会の交流をきっかけに結成した(立ち上げの経緯については第5回 JMLA 学術集会において発表)。当会は、医学図書館を含むヘルスサイエンス系図書館に係わる人材の育成を目的に研修会を開催している。第1回研修会より受講後にアンケートを実施し、研修内容と成果を把握するために分析を行なった。なお、研修会はすべてオンラインで行われ、九州・沖縄地区に限らず全国から参加があった。

2. 方法

第1回から第3回の研修会(2021年1月～2022年2月開催)終了後、各回受講者に JMLA-CE コースのポイント付与条件となる「事後アンケート」を行った。その中で、研修成果の分析を行うための追加のアンケートについて同意を得た受講者に対し「研修評価アンケート」のフォームを送信し、回答を依頼した。研修評価アンケートでは、図書館勤務年数や研修会の満足度などに加えて、ルーブリック評価表を用いて研修内容に関する知識・スキルの自己評価について質問を行った。ルーブリック評価表の項目は、知識・スキルを4つの観点に分け、それぞれに5段階リッカート尺度で習熟度を設定した。また、自己評価は受講前後それぞれの状態について回答してもらった。各観点の習熟度を0-4で点数化し、すべての点数を合算したもの(最小0点、最大16点)を各受講者のスコアとして利用することで、単に割合の比較にとどまらない細かな成果の分析を行った。

3. 結果と考察

第1回から第3回の受講者は計170名で、事後アンケートの回収率は97%、研修評価アンケートの回収率は50%だった。同一受講者が各回の研修会に参加した可能性はあるが、個人情報収集していないため、すべての回答をユニークなものとして扱った。研修評価アンケートについて、各回のアンケート内容は共通で、回答の傾向も基本的に同じだったため、3回の回答をあわせたデータで分析を行った。

分析結果および考察について、詳細は研究大会のポスター発表にて報告する。

JMLA 統計からみるコロナ禍の図書館サービス

大谷 裕

東邦大学医学メディアセンター

直近 5 年間の JMLA 統計からコロナ以前とコロナ以後の図書館サービスについて、検討を行う。

- ・ 集計項目：開館日数，館外貸出冊数，文献複写依頼数，購入単行書数，電子資料契約タイトル数を用いた。
- ・ 指標：2018 年度の会員種別平均値を 1 として，2016 年～2020 年度までを比率で示した。
※館種 A：大学・学部の図書館，B：病院，研究所等の図書館

・ 結果

開館日数

館種	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
A	1.00	0.99	1.00	0.98	0.82
B	0.92	1.00	1.00	1.02	0.90

契約電子資料数_電子ジャーナル(タイトル数)

館種	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
A	0.91	0.92	1.00	1.03	1.12
B	0.92	0.95	1.00	1.06	1.10

館外貸出冊数(図書+雑誌)

館種	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
A	0.98	1.04	1.00	0.92	0.49
B	1.01	0.91	1.00	1.43	1.31

契約電子資料数_電子ブック(タイトル数)

館種	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
A	0.71	0.53	1.00	1.49	1.66
B	0.62	0.77	1.00	1.33	1.24

購入単行書冊数

館種	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
A	0.92	1.00	1.00	0.92	0.89
B	1.02	1.03	1.00	1.19	0.86

文献複写依頼数

館種	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
A	1.15	1.08	1.00	0.90	0.79
B	1.23	1.12	1.00	0.88	0.76

・ まとめ

開館日数：2019 年度，2020 年度は A 館，B 館ともに減少

貸出冊数：2020 年度の A 館は大きく減少，B 館は増加

購入単行書数：2020 年度は A 館，B 館ともに減少

文献複写依頼数：A 館，B 館ともに 2016 年度から経年的に減少

電子ジャーナル契約タイトル数：A 館，B 館ともに 2016 年度から経年的に減少

電子ブック契約タイトル数：A 館，B 館ともに 2019 年度に大きく増加

以上

参加者企画



岩手おすすめ情報⑦

今年も三陸産「うに」のシーズンがきました(* '▽ ')
生うにを食べてよし、お土産に牛乳瓶に詰めた「瓶うに」を買うもよし！
ちなみに、洋野町には世界で唯一の「うに牧場」もあります！
旬は7月末くらいまでですので、お見逃しなく。(關山)

図書館から発信する医療情報

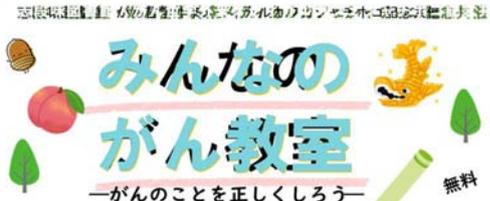
－患者会と行う「がん教育」－

彦田かな子¹⁾ 藤坂康司²⁾

1) がん哲学外来メディカルカフェシャチホコ記念 2) 名古屋市志段味図書館

今年度、名古屋市守山区にある名古屋市志段味図書館では「がん哲学外来メディカルカフェシャチホコ記念」と共催で、4月より毎月1回全12回のがんに関する連続講座「みんなのがん教室」を開催しています。毎回、がん当事者や、教育関係者、医療や福祉の専門家のみなさんをお招きして直接お話を伺います。そしてがんについて正しい情報を得る大切さを地域の方にお伝えしています。3月に開催したプレトークイベントもあわせて、5月時点で3回開催しています。これまでの参加者は小学4年生のお子さん連れの親子から、70歳代の男性までと幅広い世代の方がいて、講師の話のあとには、毎回交流会の時間を設け、参加者からの質問や、がんに関する思いを語り合う場になっています。

誰でも気楽に利用できる公共図書館での開催は、学校でのがん教育や、患者会などの当事者の集いとも違う、幅広い市民の参加が可能です。公共図書館の利用のしやすさを活かした「みんなのがん教室」の実践について中間報告をいたします。



現在、二人に一人はがんになると言われています。突然自分や大切な人ががんになったとき、治療はどうする？家族や友人はどうすればいいの？戸惑うことばかりです。このたび志段味図書館では「がん哲学外来メディカルカフェシャチホコ記念」のみなさんと一緒に、毎月1回全2回のがんに関する連続講座を開催します。毎回がん当事者や専門家のみなさんをお招きして直接お話を伺います。そしてがんについて正しい情報を得る大切さをお伝えしたいと思います。ぜひあなたの大切な方と一緒にご参加ください。

～がん哲学外来メディカルカフェ シャチホコ記念～
 代表 彦田かな子プロフィール：1970年生まれ。2014年に乳がん発症を受け、当時子どもは小学6年生・4年生・幼稚園年中。2015年に順天堂大学名誉教授の藤野興夫先生と出会い、がんについて語り合う場所「がん哲学外来メディカルカフェ シャチホコ記念」を立ち上げる。自分のがんに関わる体験を語り合うことを通じて「生きる」ことを考える場を作る活動をしている。

第一回 第一部 「がんをしろう」(約30分)
 ～小学校の先生がわかりやすくお話しします～
講師：山口美由紀先生 名古屋市立笹島小学校養護教諭
第二部 交流会(約1時間)
日時：2022年4月17日(日) 14時～15時30分
場所：志段味図書館2階集客室 二回目以降は裏面をご覧ください
対象：どなたでも 定員：20名
受付：4月3日(日) 9時30分より
 図書館カウンターまたは電話052-736-6907にて(手話通訳が必要な方は事前にご相談ください)

※イベントは新型コロナウイルスの影響により、延期または中止する場合がございます。ご不明な点がある場合は、お問い合わせください。またイベントに参加される際は、感染防止のため、館内のマスクの着用・来館前の検温チェックをお願いします。

2022年度 開催スケジュール		時間：14:00～15:30 [定員:20名]
		場所：名古屋市志段味図書館集客室
日程	イベント名	
第1回 4月17日(日)	テーマ：がんをしろう 講師：山口美由紀先生 名古屋市立笹島小学校養護教諭	
第2回 5月22日(日)	テーマ：がんの治療はどんなこととするの？ 講師：山口美由紀先生 名古屋市立笹島小学校養護教諭	
第3回 6月19日(日)	テーマ：わたしもがん患者になりました①小児がん 講師：中村航太さん(大学生、がん哲学外来メディカルカフェであらっこ代)	
第4回 7月24日(日)	テーマ：わたしもがん患者になりました②AYA世代 講師：山本翔太さん(腫瘍看護がん)	
第5回 8月21日(日)	テーマ：わたしもがん患者になりました③大人 講師：金井愛さん(乳がん患者)	
第6回 9月25日(日)	テーマ：大切な家族ががんになった？！ 講師：彦田のみなさん	
第7回 10月16日(日)	テーマ：緩和ケアってなんですか？ 講師：愛知がんセンター緩和ケアセンター緩和ケア副理史先生	
第8回 11月27日(日)	テーマ：がんのことはどこに相談すればいいの？ 講師：愛知医科大学病院がん相談支援センター森下祐一さん	
第9回 12月25日(日)	テーマ：在宅医療って何をやるんですか？ 講師：株式会社あいおい福祉代表取締役 中尾 明さん	
第10回 1月28日(土)	テーマ：がんから考える死生観 講師：豊橋創造大学保健医療学部 大野野美先生	
第11回 2月19日(日)	テーマ：グリーフケアって知っていますか？ 講師：サロン運営カウンセラー Kiyomさん	
第12回 3月19日(日)	テーマ：助けて！と言える社会へ(がX地域X図書館) 講師：名古屋市健康福祉局がん対策担当者様	

参加申込み方法：開催日の2週間前から図書館カウンターまたは電話(736-6907)にて受付します

図書館業務データで学ぶ無料統計ソフト EZR の使い方

東邦大学医学メディアセンター統計ソフトヘルプデスク(橋本郷史, 柴田大輔)
東邦大学医学メディアセンター

1. 企画概要

統計ソフトや統計分析に興味があるけれどどこから手をつけていいかわからない, という図書館員を対象に, 対話をしながらゼロから統計ソフトの使い方を学んでみようという企画です。図書館の架空の業務データの分析を通して, 統計ソフトのごく基本的な使い方を学んでみませんか。実際に参加者にも手元でソフトを操作してもらいます。分析には, 世界的な統計ソフト「R」を初心者でも使いやすく改造した姉妹版ソフト, 「EZR」を使います。

2. 参加される方へのお願い

この企画では無料の統計ソフト「EZR」を使用します。参加される方は予め以下のソフトをパソコンにインストールしておいて下さい。このソフトは Windows および Mac, Linux 環境で使用できます。

・無料統計ソフト EZR (Easy R)

<https://www.jichi.ac.jp/saitama-sct/SaitamaHP.files/statmed.html>

インストール方法と基本的な使い方は, 上記のサイトでも説明されていますが, 本ヘルプデスクで作成した以下の記事とマニュアルも, 必要に応じてご参照下さい。

・【統計ソフト】フリー統計ソフト「EZR」の Windows 環境でのインストール方法および起動方法

<https://mncstatsoft.blogspot.com/2020/10/ezr1ezr.html>

・【統計ソフト】フリー統計ソフト「EZR」の Mac 環境でのインストール方法および起動方法

<https://mncstatsoft.blogspot.com/2021/06/ezrmac.html>

・【統計ソフト】EZR の簡易マニュアルを公開しました

<https://mncstatsoft.blogspot.com/2021/05/ezr.html>

3. 使用するデータ

分析に使う架空の業務データ(利用者データ, 資料データ)を7月11日(月)までに以下に用意いたします。当日はこのデータをお手元にご用意下さい。

<https://drive.google.com/drive/folders/1a6b9Wlolq6ZYMonVJChI5CNOQvZGOSsT?usp=sharing>

4. 行う分析例 ※5月末時点での予定です。変更になる可能性があります。

基本編として, データの分布や特徴, 関係を把握するために, 基本統計量の算出, ヒストグラム, 箱ヒゲ図, エラーバー付き棒グラフ, 散布図などの作図を行います。分析実習では, 群間の数量・比率の比較, 相関係数の算出などを行います。また, 応用編として, 生存時間分析やロジスティック回帰分析の操作を少しお見せしたいと思います

多くの方の参加申込みをお待ちしております。

5歳からのヘルスリテラシー

「からだ先生のおはなし会」の紹介

健康を決める力ヘルスリテラシーを身に付けるためには、5～6歳程度から学び始めるのがよいとされています。そのため取り組み「からだ先生」の活動について、おはなし会の実演や質問タイムを交えてご紹介します。



おはなし会のテーマは
「こきゅう」です。



参考文献 : 聖路加国際大学からだ教育研究会, からだの知識は5歳から,
NPO からだフシギ, 2017

参考サイト : <https://karada-kenkyu.jimdofree.com/>

企画提案者：岡本由佳里（岩手大学図書館）
からだ先生（新米）、元・学校図書館勤務、
小中学校やイベントでのよみきかせ活動をしています

プロダクトエキシビジョン 企業展示



岩手おすすめ情報⑧ 小岩井農場 ホタル観察会（雫石町）

通常は夕方閉園のところ、期間内はガイド付きで夜にホタルの観察をすることができます。暗い森を歩くのはちょっと怖いですが、ふわーっと舞うホタルの光を眺めていると不思議と心が癒されていきます。たまには夜散歩、おすすめです！（事前申し込みが必要です）（古谷野）

Karger Campus オンライン論文執筆講座のご紹介

— 医学系英語論文執筆・査読・発表テクニックの教育プログラム —

古川 浩司

株式会社 カルガー ジャパン

■ Karger Campus オンライン執筆講座

オープンサイエンスの発展に伴う医学系国際ジャーナルでの論文発表において、英語が母国語ではない日本人著者にとって、英語論文に適した構成テクニックや、英文ジャーナルの編集者に却下されない為の注意点、倫理、投稿基準など、国際研究コミュニティで必要な知識の不足がハードルとなっています。130年の医学出版経験を持つカルガーは、それらの重要スキルをオンラインで学べる新たなプログラム「Karger Campus」の日本語翻訳版を、2022年秋より研究機関様に特別価格でご提供致します。

論文発表を成功に導く **Campus** 講師陣

 Cells Tissues Organs 編集長 熊本大学 (日本) Guojun Sheng 教授	 Ophthalmic Research 編集長 Basel 大学 (スイス) Hendrik Scholl 教授	 Cerebrovascular Diseases 編集長 New South Wales 大学 Royal Prince Alfred 病院 (オーストラリア) Craig S. Anderson 教授	 Case Reports in Ophthalmology 編集長 Tel Aviv Medical Center (イスラエル) Anat Loewenstein 教授
 スイス バーゼル大学 バーゼル臨床疫学 生物統計研究所 Matthias Briel 教授	 ロヨラ大学シカゴ 病理学・検査医学 医学教育学 Kamran Mirza 准教授	 DOAJ Directory of Open Access Journals 編集長 Tom Olijoeke 氏	 Nested Knowledge 臨床システマティック レビュー CEO Kevin Kallmes 氏

Karger Campusのメリット

- ・ 研究者の執筆・出版スキル向上
- ・ 臨床研究論文、症例報告、レビュー論文、査読コメントなど、医学研究に特化した執筆方法が学べる
- ・ 倫理的に健全な研究発表と国際的な出版基準の見識を取得
- ・ 日本語翻訳付き
- ・ 年4回のライブQ&Aセミナー
- ・ 機関IP圏外でもアクセスが可能
- ・ 機関アドミン用の利用統計レポート
- ・ 機関向けディスカウント価格

■ メディカル・ハンドブック・シリーズ **Fast Facts** <https://bit.ly/KARFFJ>

2021年より機関図書館のIPアドレス登録で無料アクセスをご提供している、Fast Factsは、特定の疾患とその診断・管理に関する専門情報を、わかりやすくまとめたメディカル・ハンドブック・シリーズです。多忙な医師にとって手に取りやすい情報ガイドブックとしてご活用いただけます。当サービスのご利用にはカルガーでの既存購読は不要です。以下までぜひお申し込み下さい。



お問合せ： **カルガー ジャパン (Karger Japan)**
 〒105-0012 東京都港区芝大門1-2-23 芝大門旭ビル2階
 Email: Publisher@karger.jp TEL: 03-6435-6242

医中誌 Web 最新情報

－新バージョンのご紹介－

寺脇一寿

NPO 医学中央雑誌刊行会 データベース事業部

医中誌 Web は 2022 年 4 月 27 日、大規模なバージョンアップを行いました。デザインの変更のほか、「日本語による PubMed 検索機能」などの新機能の追加を行い、今後目指しているサービスのポータル化への第一歩を踏み出しました。新バージョンのデザインや機能について、それぞれご紹介いたします。

1. UI/UX の変更

右図が新バージョンのトップページで、国内論文情報（医中誌データ）の検索機能の画面となっています。ページ左側にはメニューが表示され、各種機能に切り替えることができます。なお、トップページ上部には、季節ごとに替わるイラストが表示されます。

また、レスポンシブデザインの採用により、画面幅に応じて最適な表示がされるようになりました。スマホ画面でも PC 版と同じ機能を利用いただけます。



2. ゆるふわ検索

国内論文情報の新しい検索手法で、検索窓にニュース記事や論文抄録などの文章を入力すると、(株)エムエムツインズが開発した機械学習型エンジンにより、関連性の高い文献情報が提示されます。看護分野など適切なキーワードを見つけづらい場合や、論文検索に不慣れな場合でも、ゆる～い検索手順で、ふわっとしたテーマで検索いただけます。

3. PubMed 検索

医中誌 Web の画面上で、PubMed 収録データを検索することができる機能です。入力されたキーワードは、自動翻訳ツールや医学用語シソーラスの利用により、日本語で入力したキーワードも適切な形式に展開され、PubMed の API で検索が実行されます。

4. 今後の予定

第 2 弾のバージョンアップとして、医学書籍情報の検索機能を搭載します。検索結果から、提携する各電子書籍サイトへリンクし、そちらで本文をご覧いただけます。

おかげ様で、来年には医学中央雑誌創刊から 120 年を迎えます。創刊以来の「医学の発展に貢献する」という理念のもと、医中誌 Web は今後も進化してまいります。

医学書院 オンライン製品のご案内

大谷悠也
株式会社 医学書院

医学書院のオンライン製品、「MedicalFinder」、「今日の診療」、「e ナーストレーナー」についてご紹介いたします。また、医書ジーピー社より販売委託を受けている「医書.jp オールアクセス」についても合わせてご紹介いたします。



【電子ジャーナル】

- ☆大学，病院を問わず幅広くご導入いただいています。
- ★キャンセルはほぼゼロ件。安定的に使って頂けるサービスです。
- ☆「医書.jp オールアクセス」は 2018 年から 5 倍の導入件数になりました。



【診療情報データベース】

- ☆「今日の治療指針」と「治療薬マニュアル」がベースとなっているので、毎年最新の情報を閲覧頂けるサービスです。
- ★ご要望が多かった患者説明用資料，標準的医療説明資料，診療報酬点数など最新コンテンツを多数実装しました。
- ☆研修医向けのコンテンツを強化した「プレミアムプラス」も好評です。



【看護技術・看護過程を網羅したデータベース】

- ☆コロナ禍を受けて導入件数が急増しました。
- ★膨大な書籍コンテンツも閲覧可能な点が好評です。
- ☆2022 年に最新コンテンツを追加しました。

【お問い合わせ先】

(株)医学書院 販売・PR 部 EM 販売課
TEL : 03-3817-5652 E-mail : em@igaku-shoin.co.jp

カーリル：学校図書館支援プログラム

－すべての図書館の本をオンラインで探せるようにしたい！－

吉本龍司
株式会社カーリル

カーリルでは 2020 年 4 月から学校図書館支援プログラムを開始しました。このプログラムは、これまでオンラインでは検索できなかった Web-OPAC を運用していない図書館向けに蔵書検索サービスを無償で提供するものです（便宜上、学校図書館の名称が使われていますが、公共図書館、公民館図書室、病院図書室や患者図書室などでもご利用いただけます）。感染症拡大防止のための取り組みとしてスタートしましたが、2022 年 5 月現在までに全国で 900 館以上の図書館が導入し、日々新しい図書館からの申し込みを受け付けています。サービス開始時の経緯とわかりやすさから、「学校図書館」という名称を使っていますが、専門図書館でも多数ご利用いただいています。

カーリルに蔵書データと、サイト名などの必要な項目を申し込むだけで検索サービスを提供します。検索サービスを立ち上げるために必要な蔵書のデータの形式は問いません。CSV 形式でもエクセルファイルでも構いません。お申込みいただいてから 3 営業日程度で検索サイトの URL が発行されます。初期状態では URL を知っている人しかアクセスできないようになっています。検索ページの URL を限られた人にも共有することで、クローズドな検索サービスも構築することができます。

例えば、患者図書室と最寄りの公共図書館の蔵書を横断検索したり、予約を Google フォームで受け付けたりするなど、図書館サービスを柔軟に構成することができます。



カーリルはすべての図書館の本をオンラインで探せるようにしたいと思っています。ぜひお気軽にお問合せください。

詳細はカーリルのブログにて

<https://blog.calil.jp/2020/04/negima.html>



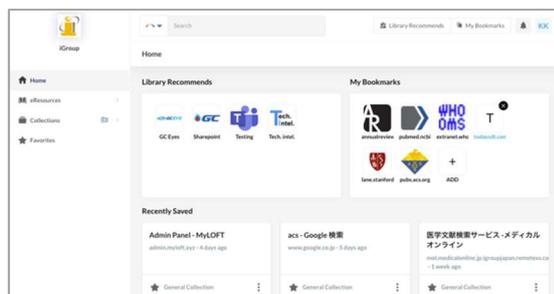
図書館の価値の証明のための様々なソリューション —リモートアクセス, ジャーナル価値管理サービス および医学系コンテンツ—

楊綺玲, 小林環
iJapan 株式会社

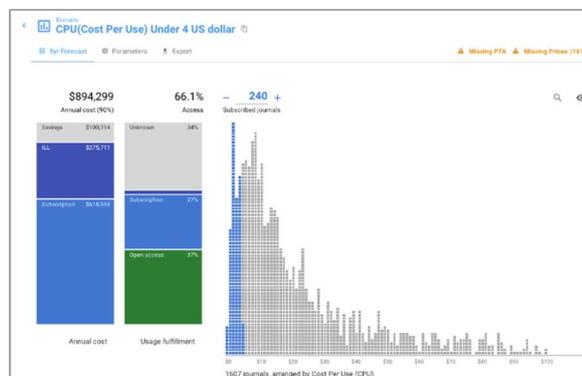
弊社 iJapan 株式会社では、図書館向けの新しいリモートアクセスソリューションとして MyLOFT を、また、所属組織の利用統計をアップロードすることで利用率および OA 化率を測定し、ジャーナル購読の価値判断の一助となるソリューションとして、unsub.org をご紹介いたします。

また医学系コンテンツ Cyber Patient, AORN eGuideline+ のふたつもあわせてご紹介いたします。Cyber Patient は、バーチャル世界での検査、その結果の分析、そして最適な治療およびコストの計算を行います。AORN eGuideline+ では手術看護のガイドラインを 34 項目で提供しております。そのうち毎年 5-6 項目がアップデートされ、様々なツールや FAQ などを通してガイドラインが利用できるように設計されているコンテンツです。

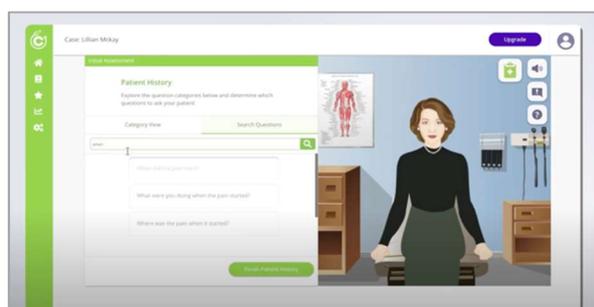
MyLOFT



unsub.org



Cyber Patient



AORN eGuideline +



サンメディアのトータル e コンテンツソリューション

株式会社サンメディア e-Port カンパニー

【文献入手のための Web サービス】ARROW

学術文献の入手をトータルにサポート



ARROW

文献の電子配信サービス Article Direct と、図書館より入手した文献を宅配や FAX でお届けするフルサービスドキュメントデリバリーをひとつのプラットフォーム ARROW から利用できます。医中誌 Web や JDreamⅢ 及び、リンクリゾルバと ARROW を連携して依頼することもできます。

【国内雑誌の電子ジャーナル】PierOnline

「癌と化学療法」「医学のあゆみ (PPV)」を最新号からご利用いただけます！



「癌と化学療法」「医学のあゆみ (PPV)」を最新号からご利用いただけるのは PierOnline だけ！また国内唯一の精神科薬物治療の専門誌「臨床精神薬理」(星和書店) もオンライン版で最新号からご利用いただけます。

【洋雑誌の全文データベース】ProQuest

医学・看護系の多様なフルテキスト需要にお応えします。



Part of Clarivate

ProQuest の医学・看護系データベースは、Lancet や NEJM、BMJ などの人気タイトルを全文で収録しています。また、ProQuest には学位論文や比較的マイナーなタイトルも多く収録されており、こうしたコンテンツも実は多く閲覧されています。ProQuest の全文データベースは、研究者の多様な需要にお応えできます。

【論文評価システム】Faculty Opinions

研究者の評価に基づいた論文レコメンドサービス



Faculty Opinions

生物学・医学・心理学など、生命科学分野の学術論文を対象に、各専門領域において広く認められた研究者が論文を評価し、推薦するサービスです。Faculty Opinions では、全世界の 8,000 名以上の研究者が Faculty メンバーとして優れた論文を評価・推薦します。

【AI を活用した新しい医薬文献検索ツール】JDream SR

論文調査の作業を効率化、情報の集約をサポート



JDreamⅢ が収録する国内の医学薬学文献情報、及び MEDLINE が収録する世界の医学薬学文献情報から、AI を活用して薬剤、疾患、遺伝子変異、アウトカム指標等の関係を調査・解析できるサービスです。

【その他取扱商品】



医療系データベース・サービスのご紹介

—いつでもどこでも検索・認証・閲覧を実現します—

三木啓資

EBSCO Information Services Japan 株式会社

医療系；臨床サポートツール；リンクリゾルバー；文献検索；ディスカバリーサービス

EBSCO Discovery Service Health™

EBSCO Discovery Service Health (EDS Health) は単一インターフェイスで紙・電子媒体の資料を論文記事・タイトルレベルで一括検索します。

ご契約リソースに限らず国内外の無料コンテンツ等も検索対象に含めることができ、利用者の求める情報や情報検索の習熟度に関わらずご利用いただけます。

Full Text Finder (リンクリゾルバー) および Publication Finder (リスティングツール) も付属、利用者が目的とする情報へ効率的にナビゲートします。



OpenAthens (オープンアセンズ) が認証にかかる手間を軽減します。ご自宅からなどの文献検索時、認証が求められ必要な文献をすぐに読めない状況を打開します。

利用者をご契約リソースへ簡単にアクセスできる環境を実現するため、クラウドベースのシングルサインオンサービスを提供。認証環境の整備や拡充を検討されている図書館様、必見です。



医学系学術文献データベース MEDLINE シリーズおよび看護学分野定番データベース CINAHL シリーズの最上位版となる「MEDLINE Ultimate」「CINAHL Ultimate」が新たにリリースされます。

臨床系データベースで世界的評価を得ている DynaMed は日々情報が更新されます。単体での利用はもちろんのこと、EDS Health からの検索でエビデンスを参照、MEDLINE Ultimate 等に収録される文献と併せて利用することで日々の研究・学修を支援します。コンテンツ整備・拡充を検討されている図書館様、ぜひご覧ください。

お問合せ 電話：03-4540-7169 Email:jp-medical@ebSCO.com

メディカルオンライン

ーイーブックスライブラリーと新機能追加のご紹介ー

吉田信子

株式会社メテオ 営業部

1. メディカルオンラインイーブックスライブラリー

2015年にメディカルオンラインのオプションサービスとしてサービス開始いたしました。サービス開始時には2,729冊からの配信でしたが、2022年5月現在では7,441冊に増えております。年間購読制の書籍と買い切り書籍の組み合わせでのご提供です。



2. 新機能の追加

2022年1月からMyページに文献や電子書籍の書誌情報を管理するMyコレクション機能が追加されました。メディカルオンラインのコンテンツである、文献・電子書籍の書誌情報やくすり・プロダクト（医療機器）をMyコレクションに追加（お気に入り登録）して管理・エクスポート機能などをご提供しています。



医学関連電子コンテンツのご紹介

兼田 順平、川口達也
丸善雄松堂（株）

【医学系和書洋書データベース】

■ Maruzen eBook Library



販売タイトル数 15 万点以上、参加出版社数 330 社以上の国内最大級の電子書籍プラットフォームです。医学・看護分野は約 4 万タイトル収録、医学雑誌バックナンバーも含まれています。PDF タイプ・EPUB リフローの読み上げコンテンツや動画コンテンツも充実しています。大学出版会で発行した書籍の電子版の発売もご要望が増えて来ております。

■ ProQuest Ebook Central



750 社以上から出版された 190 万点以上の洋書 eBook をひとつのプラットフォームから閲覧できるデータベースです。医学・看護分野だけでも約 13 万点以上搭載され、ご希望の出版社タイトルを 1 点から購入できます。

■ Access Medicine



Harrison 等の定番医学書電子版 150 点以上の他、音声、動画、症例、Q&A 等関連情報を豊富に搭載しています。新刊の Harrison 21 版も既に電子として搭載されご利用頂けます。

【丸善のお勧めコアジャーナルタイトル】

Annals of Internal Medicine
ESTABLISHED IN 1937 BY THE AMERICAN COLLEGE OF PHYSICIANS

PEDIATRICS

Mary Ann Liebert, Inc. publishers

AMA
AMERICAN MEDICAL ASSOCIATION

■ ACP/AAP/Mary Ann Liebert/American Medical Association

世界的に最も歴史ある内科学会コアジャーナル ACP、小児関連の最高権威の学術誌 AAP、再生医療等の先端医学関連タイトルや学会の公式機関誌に定評のある MAL、アメリカ医学界で最も権威あるジャーナル AMA をご紹介致します。

【安価にアクセス可能なアグリゲーター系商品】

■ Gale Academic OneFile 医学系



全分野の外国雑誌を提供する汎用性の高いジャーナルデータベースです。医学分野のジャーナルも多数提供、総合大学だけでなく、医療系、看護系の大学にも導入されています。

【お問い合わせ】丸善雄松堂株式会社 企画開発統括部 研究ソリューションセンター

Tel:03-6367-6114 FAX:03-6367-6160 E-mail:e-support@maruzen.co.jp

MedOne プラットフォーム

ー学習力を高めるオンラインツールー

Dirk Fingerhut, 大西 里奈
Thieme Publishing Group

MedOne は、研修医や医学生、専門医に必須の学習コンテンツを提供する、以下 8 つの専門分野に特化したマルチメディアプラットフォームです。医学学習者、医療従事者が忙しい中でも簡便に信頼性の高い情報にアクセスし、学習することを可能とします。

MedOne 脳神経外科	https://medone-neurosurgery.thieme.com
MedOne 形成外科	https://medone-plasticsurgery.thieme.com
MedOne コミュニケーションサイエンス	https://medone-comsci.thieme.com
MedOne 脊椎	https://medone-spine.thieme.com
MedOne 放射線医学	https://medone-radiology.thieme.com
MedOne 耳鼻咽喉科	https://medone-otolaryngology.thieme.com
MedOne 眼科	https://medone-ophthalmology.thieme.com
MedOne 医学部生向け	https://medone-education.thieme.com/home

MedOne パンフレット

https://www.thieme.de/statics/dokumente/thieme/final/en/dokumente/sw_%20thieme-connect/Thieme_MedOne_Brochure_en.pdf

MedOne は、臨床医学を学ぶ学習者が参考文献をワンストップで参照したり、学習することを目的として設計されており、ジャーナルや書籍のみでなく、著名な専門医による手術動画や症例、その他学習コンテンツを数多く搭載しています。専門医にとっては、最新の情報や複雑な症例を学び、さらなる専門スキルを習得する為のツールとして、またレジデントにとっては、基本知識をブラッシュアップし、専門医資格認定試験対策を行うための学習ツールとして最適です。MedOne はリモートアクセスにも対応しており、ユーザーがいつでもどこでも効率的に学習を行うことを可能とします。

収録コンテンツや機能に関する詳しい説明、またトライアルのお申込みは、Dirk Fingerhut < Dirk.Fingerhut@thieme.de > または、大西里奈 < esales_jp@thieme.de > までお気軽にお問い合わせください。



剽窃・盗用チェックツール iThenticate

～意図しない剽窃行為を防ぐために～

営業チーム

ターンイットイン・ジャパン合同会社

研究者にとって努力の結晶である論文発表という局面で、自己剽窃や不適切な出典等の意図しない誤りは、剽窃行為としてみなされる可能性があるため、論文の発表前に意図しない不正行為を未然に防ぐことは重要な意味を持ちます。論文向け剽窃・盗用チェックツールとして数多くの大学・研究機関・学術出版社で活用される iThenticate (アイセンティケイト) についてご紹介いたします。※ご要望に応じて他製品もご紹介いたします。



iThenticate (アイセンティケイト)
～学術論文向け剽窃・盗用チェックツール～

iThenticate は、論文等の原稿を既存の学術データベースと照合、類似性を確認することで、独自性を検証するオンラインツールです。類似性を比較するコンテンツの豊富さ、学術出版社の投稿プロセスで採用される等の信頼性から、国内外数多くの大学や研究機関等で採用されています。

世界最大級・最速級で成長するコンテンツデータベース

Elsevier, Springer Nature, Taylor&Francis, Wiley 等をはじめ、学術出版社約 1,500 社のジャーナル 47,000 誌に掲載されている論文 8,200 万件との類似性を比較できます。また、JST (科学技術振興機構) とのパートナーシップを通じて、JST の JaLC 学術データベースとの類似性を比較できるようになりました。この JaLC 学術データベースには、JST が運営する電子ジャーナルプラットフォーム J-STAGE の学術コンテンツ約 260 万件が含まれます。

学術出版社における投稿プロセスでの採用

国際的な学術出版物の非営利団体 Crossref とのパートナーシップを通じて、同団体に加入する学術出版社 1,300 社における投稿論文のスクリーニングと査読プロセスの基準として、iThenticate は採用されています。



お問い合わせ先
ターンイットイン・ジャパン合同会社
E-mail : japan@turnitin.com

参加企業連絡先（50音順）

iJapan 株式会社

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-5-16 アルテ大手町 9 階

Tel : 03-5577-4899 Fax : 03-5577-4809 Email : qiling@igroupjapan.com

株式会社 医学書院 販売・PR 部 EM 販売課

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

Tel : 03-3817-5652 Fax : 03-3815-7804 Email : y-ootani@igaku-shoin.co.jp

特定非営利活動法人 医学中央雑誌刊行会 データベース事業部

〒168-0072 東京都杉並区高井戸東 2-5-18

Tel : 03-3334-7625 Fax : 03-3335-3327 Email : ep@jamas.or.jp

EBSCO Information Services Japan 株式会社 ヘルスサイエンス系データベース部門

〒164-0001 東京都中野区中野 2-19-2 中野第 1 OS ビル 3 階

Tel : 03-4540-7169 Fax : 03-5342-0703 Email : jp-medical@ebSCO.com

株式会社 カーリル

〒509-9232 岐阜県中津川市坂下 1645-15

Tel : 0573-67-8105 Fax : 0573-75-3462 Email : massae@calil.jp

株式会社 カルガー ジャパン

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-2-23 芝大門旭ビル 2 階

Tel : 03-6435-6242 Fax : 03-6435-6244 Email : publisher@karger.jp

株式会社 サンメディア e-port カンパニー

〒164-0012 東京都中野区本町 3-10-3 Port91

Tel : 03-3299-1575 Fax : 03-3374-1410 Email : e-port@sunmedia.co.jp

Georg Thieme Verlag KG Institutional Sales

Rüdigerstraße 14, 70469 Stuttgart

Tel : +49 711 8931 941 Fax : +49 711 8931 794 Email : esales_jp@thieme.de

ターンイットイン・ジャパン合同会社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-27-5 リンクスクエア新宿

Tel : Fax : Email : japan@turnitin.com

丸善雄松堂株式会社 企画開発統括部

〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル

Tel : 03-6367-6070 Fax : 03-6367-6196 Email : junpei.kaneda@maruzen.co.jp

株式会社 メテオ 営業部

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 2-7-3 VORT ビル 2 階

Tel : 03-5577-5877 Fax : 03-5577-5878 Email : info@medicalonline.jp

岩手おすすめ情報⑨ 宮沢賢治童話村（花巻市）

・広い敷地内がオブジェやミラーボールでライトアップされ、幻想的な光でいっぱいになります。まるで子どもの頃に空想した世界に紛れ込んだかのようなひとときを楽しむことができます。ファンタジー好きは必見！

（2022年は7/23～10/30開催）（古谷野）

・花巻市ならではの、という宮沢賢治関連の施設です。ライトアップされた「童話村の森」の夜の世界は、幻想的で美しい物語に足を踏み入れたかのような気分を味わえます。フォトジェニックなのでネット上でも美しい画像をたくさん見ることができます。（佐藤）

岩手おすすめ情報⑩

盛岡市は町中でも空気も水もおいしくて、春にはツバメが巣を作り、ウグイスの声が聞かれます。夏は盛岡三清水（御田屋清水、大慈清水、青龍水）、秋は中津川で遡上して来る鮭が見られます。冬は…とにかく寒い！ 本州一寒い藪川の岩洞湖でワカサギ釣りはいかがでしょう。（川崎）

Learning from each other!

医学情報サービス研究大会をより充実させるために

1. “Learning from each other!” に込められた思いとは

生命科学系の情報専門家として仕事をしていくためには、必要な知識とスキルを学びあうだけでなく、大きく変化する社会状況のなかで、専門職としての役割を再定義していく努力が求められる。医学情報サービス研究大会は、その努力の成果を試すひとつの場といえる。なぜなら医学情報サービス研究大会の特徴は、年齢、所属機関、性、地域、肩書きなどの違いをこえ、学びあうことに熱意を持ち、率直に交流し、問題解決の方法を求め、そして職業人としての向上を目指す人々が集う点にあるからである。つまり、医学情報サービス研究大会が掲げる”Learning from each other!”には、「参加者の所属機関・肩書きを意識しない」、「学びあう」、「自覚的に参加する」という思いが込められている。

医学情報サービス研究大会には、毎回参加する人、久しぶりに参加する人、初めて参加する人、発表する人、発表を聞きたい人等、様々な人がいるが、”Learning from each other!”に込められた思いを理解していただければ、たとえひとりで参加したとしても、医学情報サービス研究大会で有意義で心地よい時間を共有することができる。

2. 参加の目的

医学情報サービス研究大会とは、その名の通り、研究発表の場である。したがって医学情報サービス研究大会に参加する目的は、研究発表をすることであり、研究発表を聞くこととなる。

この参加目的を達成させ、より充実感を味わうために、発表者、聴衆、モデレーターに以下のことを提案したい。

3. 発表者

発表は自分の研究成果を問う場所である。ひとりでも多くの聴衆に自分の研究を理解してもらえよう、発表の仕方を工夫しよう。

3.1. 発表に際して

(1) 発表の内容

- ・既発表の内容でも許容できるが、大会参加者に興味ある視点から発表しよう。
- ・持論を展開するだけでなく、データや文献等で裏付けを得て、より客観的な分析・考察をしよう。
- ・宣伝的な内容に終始しないようにしよう。

(2) 発表の形式

- ・医学情報サービス研究大会の発表では、“口頭発表”と“ポスター発表”が設けられることが多い。それぞれにメリットがあり、向いている形式を選択する。

3.2. 口頭発表

(1) 研究の目的と結論を明確にしよう。

- ・研究の目的と結論を分かりやすく伝えるために、発表を組み立てよう。

(2) 研究の目的と結論に沿った説明をしよう。

- ・発表では、調べたことのすべてを説明する必要はない。研究目的と結論を理解してもらうため、必要なことのみを端的に説明しよう。
- ・問題の背景や先行研究を丁寧に説明すると、どうしても長くなりがちである。時間配分を考えて、勇気をもって割愛することも大切である。

(3) 発表時間を守ろう。

- ・発表時間は必ず発表要領で確認して、時間内に収まるように構成しよう。
- ・ベルが1回鳴ったら：まとめに入る。
- ・ベルが2回鳴ったら：いったん終了して、モデレーターの指示に従う。
- ・発表終了後に質疑応答。

<口頭発表のコツ>

準備

- ・発表要領で、用意されるパソコン環境とインターネットの有無を確認しておこう。
- ・スライドは、シンプルな画面構成を心がけよう。目的から結論に至るまで、分かりやすい文脈を考えよう。
- ・アニメーションはなくてもよい。使う場合は発表で効果的になるようにしよう。
- ・リハーサルをして、スライドを見て条件反射で説明ができるようになろう。声を出すことも大事。同僚・家族などに聞いてもらおう。

発表

- ・緊張・不安は誰にでもある。少なくとも医学情報サービス研究大会では、怖れる必要はない。

- ・原稿を用意して、読み上げても構わない。
- ・発表姿勢がよいと、発表の印象もよくなる。
- ・時間内に 2, 3 回会場を見渡して、聴衆の反応に目をやるとよい。

質疑応答

- ・質問にはシンプルに答えよう。分からないことを無理に答える必要はない。
- ・学術研究の世界では、クリティカル・シンキング（批判的思考）が一般的である。そのため、発表に対して批判的な質問をされることもある。それはあなた個人を批判しているのではないので、質問に対し真摯に回答しよう。
- ・質問を怖れない。感謝する気持ちで答えよう。

発表をより充実させるため

- ・発表内容を論文にしてみよう。
- ・発表は経験こそが上達の極意。ぜひ継続しよう。

3.3. ポスター発表

(1) ポスターで、発表内容を自由に表現しよう。

- ・発表で伝えたい、研究の目的と結論を明確にしよう。
- ・口演発表と同様に、すべてのことは伝えられない。研究の目的と結論を分かりやすく伝えるため、内容とデザインを検討しよう。

(2) 決められた大きさを守ろう。

- ・所定のパネル内に収まるように工夫しよう。

(3) 説明を明解・明確にしよう。

- ・文字を減らしてできるだけ図示して、短時間で理解してもらえる工夫をしよう。
- ・ポスターは“ぱっと見”の印象が大切。参加者に足をとめていただき、読んでもらえる構成を心がけよう。

<ポスター発表のコツ>

準備

- ・大判印刷ポスターでも、コピー用紙を複数枚貼る構成でも、どちらでも構わない。
- ・事前に完成させたポスターを持ち込むため、万が一に備えてバックアップを考えよう。（USB でデータを持参、Web mail にファイルを投稿等）修正液・サインペン・色鉛筆等があると、軽微な修正ができる
- ・発表に必要なパネルや画鋲は、実行委員会が用意する。指定された場所・時間内に、所定の場所に掲出しよう。

発表

- ・“ポスター発表ダイジェスト”という、口頭発表の時間が設けられることがある。

- ・限られた短い時間では、すべてを説明することはできない。ポスターを見に来てもらう呼びかけに徹しよう。

質疑応答

- ・“発表者待機時間”が設定されていれば、決められた時間にポスター前に立とう。
- ・口頭発表と異なり、一対一で納得のいくまで話し合える利点がある。
- ・興味のある方だけが質疑応答に来るので、気負わず挨拶や声がけをしよう。できれば名刺交換も。質問を怖れず感謝する気持ちで、ポスターを見ながら納得いくまで議論しよう。
- ・同じ質問が繰り返される場合、根本的な問題か、単なる説明不足かもしれない。分からないことは、逆に質問してみよう。教わることは恥ずかしいことではない。

発表をより充実させるため

- ・発表内容を論文にしてみよう。
- ・ポスターで言いたかったことを、文章にして説明しよう。

4. 聴衆

質問は、発表に対する理解を深めるために行います。発表者、そして自分以外の聴衆にも分かりやすい質問を心がけよう。

(1) まずは名乗ろう。

- ・挙手して、モデレーターから指名されたら、所属先と氏名を名乗ろう。

(2) 質問は明確にしよう。

- ・質問かコメントかを最初に述べて、1回にひとつだけにしよう。
- ・質問の前に持論を展開することはせず、聞きたいことを明確に述べよう。
- ・モデレーターの指示に従って質問しよう。

(3) 興味を持ったら、質疑応答の時間以外にも、発表者に質問してみよう。

- ・休憩時間や懇親会なども、質問のチャンスとして活かそう。

5. モデレーター・タイムキーパー

モデレーターが発表者・質問者の発言を指揮することにより、発表のクオリティも変わる。発表者・質問者が独断に走らないよう、上手にコントロールしよう。

(1) セッションを把握しよう。

- ・大会抄録でセッションのテーマ、発表者名のヨミと所属、演題内容を確認しよう。
- ・セッション発表者が緊張しているか、問題を抱えているか、事前の打ち合わせを通して把握しておこう。

(2) 発表の時間を守ろう。

- ・セッションに設定された時間を把握しよう。

- ・タイムキーパーは、規定された時間どおりにベルを鳴らそう。ただし、規定時間内に発表が終了した場合は鳴らさない。
 - ・時間内に終わらない場合は、モデレーターが一度制止して、対応を指示しよう。
 - ・すぐ終わりそうなら、多少の延長を認める。
 - ・終わりそうにないなら、いったん止めてもらい、継続・終了を指示する。
- (3) 質問の交通整理をしよう。
- ・質問、回答はモデレーターの指示のもとで行うようにしよう。
 - ・聴衆を無視しない（発表者と質問者で勝手に盛り上がらない）ようにしよう。
 - ・質問者の発言が長い場合や内容の要領を得ない場合は、質問者に注意しよう。
 - ・質問や回答が脱線しないよう制御して、分かりにくい場合は要約しよう。
- (4) 質疑応答を活発にしよう。
- ・質問が出なかった場合、可能であれば、モデレーターから質問しよう。

6. 参考文献

- ・黒木登志夫. 知的文章とプレゼンテーション（中公新書 2109）. 東京：中央公論新社；2011.
- ・堀口安彦. 発表が楽しくなる！ 研究者の劇的プレゼン術：見てくれスライド論&よってらっしゃいポスター論と聴衆の心をつかむ講演技術. 東京：羊土社；2013.
- ・渡部欣忍. あなたのプレゼン誰も聞いてませんよ！：シンプルに伝える魔法のテクニック. 東京：南江堂；2014.
- ・今泉美佳. ポスター発表はチャンスの宝庫！：一歩進んだ発表のための計画・準備から当日のプレゼンまで. 東京：羊土社；2003.
- ・宮野公樹. 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術：ポスター発表を成功に導くプレゼン手法. 東京：化学同人；2011.
- ・Thomas A. Lang. 宮崎貴久子；中山健夫訳. トム・ラングの医学論文「執筆・出版・発表」実践ガイド. 東京：シナジー；2012.
- ・MIS31 名古屋大会実行委員会 “QOL” for MIS31 ～学びの質を高めるために～ [internet]. http://mis.umin.jp/31/pdf/MIS31QOL_20140224.pdf, <http://www.slideshare.net/satomikojima750/mis31-qol-20140224-34934408> [accessed 2022-06-04]

2021年6月

医学情報サービス研究会幹事会

実行委員紹介

●大会実行委員長：川崎 かおる（岩手医科大学附属図書館）

特別講演、企業、グッズ、プログラム、演題・参加者受付、広報、懇親会、その他何でも担当

第 11 回以来、28 年（26 回）ぶりの岩手大会となりました。

初めて MIS に参加したのは下見のための第 10 回（順天堂大学）で、上司に「図書館で働く上で、多くの人と知り合うことが大切」と教わりました。人脈のみならず、コミュニケーション能力も必要との示唆だったと思います。以降、参加する度に知り合いが増え元気をもらい、仕事でのモチベーションも上がりました。出張で行かされるのではなく“手弁当で参加する大会”というのが新鮮で、毎夏の楽しみになりました。

今回は Zoom 開催ではありますが、実行委員にもご参加の皆さまにも、多くの出会いがありますように！

そして、何の気兼ねもなく行き来ができるようになりまして、是非とも岩手へ足をお運びください。お問い合わせいただければ、いつでもお勧め情報をお知らせします。

●事務局長：關山 悦子（岩手医科大学附属図書館）

会計・広報担当

MIS37 へのご参加、ありがとうございます。

初参加は MIS35（東京サマーフェスティバル 2018）でした。唯々、全てが新鮮で好奇心が存分に刺激された後、ランチタイムに川崎さんから 2 年後の岩手大会について打診されました。予想外のことに、真夏の暑さが少し和らいだ気がしました(;'▽')

この 4 年間で感じたことは、皆さんが MIS を大事に思っていて、純粋に好きなんだということです。私も回を重ねる度に、夏休みに親戚の集まりへ行くような気持ちになってきました。そのくらい自由で居心地が良い&様々なご縁を繋ぐことができるこの会が、今後も継続されることを祈っています。今回、現地開催ではないため、当地の魅力をお伝えしきれないと思いますが、ぜひ別の機会にゆっくりお越しいただければ嬉しいです。

それでは、2 年分の熱気をどうぞお楽しみください。

●実行委員

菊地 蘭美（一関市立藤沢図書館）

グッズ初期担当

公共図書館に勤務しておりますが、岩手開催ということで実行委員長の川崎さんにお声を掛けていただいたのがご縁となりました。普段は岩手医科大学附属図書館と県内公共図書館との連携企画展示に参加させていただく機会が多く、その度に医学図書館ならではの多様な専門知識や情報を提供いただき、色々と勉強をさせていただいております。今回 MIS の参加は初めてですが、当日はコロナ禍での 2 年越しの開催が無事に迎えておりますことを祈念しつつ、どうぞよろしく願いいたします。

古谷野 ありさ（岩手医科大学附属図書館）

庶務担当

これまでポスターセッションに応募する機会はありましたが、あいにく当日欠席することとなり、MISへの参加は今回が初めてです。初のオンライン開催ということもあり、当日はどんな雰囲気だろうかと今からドキドキしています。細々とした業務をそっとお手伝いしては姿を消す妖怪のような日陰委員でしたが、微力ながら最後まで大会運営に携われたことを嬉しく思います。

ここ1年くらいで手捏ねパンの沼にはまり、隙あらばパンを焼きまくる生活を送っています。冷凍庫が溢れかえろうともパンへの探究心が抑えられず、納得いくものが焼けるまでぺちぺちと小麦粉を捏ねる日々。気が付いたらAmazonの欲しいものリストが発酵カゴと捏ね台で埋まっていました。何を目指しているのか自分でもよく分かりません。この世に未練を残すパン職人の霊でも憑いているのでしょうか。何はともあれ、焼きたてのパン、最高です。

佐々木 建二（岩手医科大学附属図書館）

企業展示担当

図書館への着任早々、あの暑い（熱い？）福岡へ飛んだ日から3年の日々がたったのかと思うと、時の流れの速さに驚きます。コロナウィルス感染症拡大防止のため、MIS37はオンライン開催となり、福岡で激写してきた約150枚の写真の約半数（お弁当、懇親会、お土産など…涙）が参考とできませんでしたが、オンラインならではの工夫をして開催準備をしまっていました。少しでもみなさまの印象に残る大会にできればと思っています。

また、みなさまを岩手にお迎えすることができず大変残念ですが、これを機会に、岩手がいつか訪れてみたい『あこがれの地』となることを願っています。プライベートでのお越しをお待ちしております。岩手医科大学附属図書館はいつでも見学可能です！笑

佐藤 菊代（岩手医科大学附属図書館）

Webサイト・SNS広報・ウェビナー担当

MIS35 東京大会へ行こう♪と観光気分で旅支度をしていた2018年の夏。あの時はまだ自分が実行委員としてその後もMISに関わり続けていくとは予想もしませんでした。学会や研究発表会といった場に行くことさえ初体験で、すっかりMISの熱気にあてられ、福岡の次の会場は岩手…またMISに参加できるのね！と歓喜してからあっという間の4年でした。

新型コロナ感染拡大の影響でオンライン大会という手段を選択したものの初体験の連続に四苦八苦する中で、ありがたいことに多くの参加申込をいただきました。中には申込画面の備考欄へ実行委員への応援コメントをくださった方もおられます。とても、とても励みになりました。力及ばず至らない点が多々あるかもしれませんが、そんなオンライン岩手大会ですが、皆様が少しでもこのMIS37を楽しんでまた次回も参加しよう、と思ってくださったなら嬉しいです。

手塚 美希（紫波町図書館）

グッズ・懇親会初期担当

情報資源の少ない小さな町の図書館にとって、医療や健康に関する個人の困りごとや、地域全体の課題のために、より良い情報を提供するには、専門機関との連携が欠かせません。岩手医科大学附属図書館は積極的に地域の図書館に関わってくださり頼りになる大切な存在です。今回、MIS 運営の末席に加えていただき、運営側ではありますが、専門の皆さまから学び、岩手県内全体での医療や健康情報の提供のあり方を考えるヒントが得られたらうれしく思います。現地で交流できないのが残念ですが、岩手を楽しんでもらえますよう！

山田 奈々（青森県立保健大学附属図書館）

SNS 広報、抄録集担当

山好きの山田家に生まれた、海派。でも盛岡に來ると、北上川も岩手山もカッコイイ！と思います。

岩手とは県境が接しているくらいしか接点がないのに、実行委員に誘ってくださった川崎さんに感謝です。よそ者視点で岩手の魅力をお伝えすることに夢中になったり、オンラインイベントの裏側を見られたりして、楽しく、かつ仕事に役立つ経験をさせていただきました。

●協力委員

姉帯 智子（岩手医科大学附属図書館）

岩手おすすめ情報⑪ 神の絨毯（一関市）

宮城・岩手・秋田の三県にまたがる名峰「栗駒山」の紅葉です。

宮城側は一面赤の色彩、岩手側はカラフルなパッチワークのような黄色、緑、赤。圧倒的なスケールと美しさは、今まで登らなかったことを後悔するほど。下山後の温泉（源泉かけ流し）も格別♪（關山）

岩手おすすめ情報⑫ 久慈琥珀の発掘体験

宝石を掘って見つけれられるなんてロマンチックでしょ？…なあんて簡単には見つかりません、でもそこがイイのです。恐竜など古代生物の化石も出るのだとか。現地に行きたくても遠いよ～と思った方、発掘体験の缶詰をネットショップで買えます！私は去年3缶買いました。（佐藤）

ロゴマークについて

ロゴマークは、秋田県の知人から紹介してもらった鈴木大地さんに、岩手県に関連するさまざまなアイデアを提示していただきました。そして岩手の実行委員に悩みながら候補を絞ってもらった結果、鉄瓶2種類、銀河鉄道1種類の合計3種類になりました。



グッズや Facebook などに使用したロゴマークは、岩手県の逸品「鉄瓶」。周りの湯気は、MIS に参加されるみなさまの熱気、白熱する議論のイメージです。

主にホームページに使用した銀河鉄道のロゴマークは、『銀河鉄道の夜』の著者の宮沢賢治が岩手県花巻市出身であることにちなんだものです。

中央部分が白バージョンと黒バージョンがあります。



抄録集に使用した鉄瓶ロゴマークの別バージョン。

ロゴマーク担当：山田 奈々

大会グッズのご紹介

- MIS37 特製鉄瓶ロゴ入りトートバッグ -

今回は Web 開催ということで、6 月 23 日までに参加申込いただいた全員に配布いたします。

岩手大会の思い出と共にご愛用いただければ幸いです。



A4 サイズが入り、肩にかけられるマチありのバッグです。

会議や出張のお供に是非ご活用ください！

Web 開催なのでグッズ無しの予定でしたが、実行委員の「どうしても記念になる物を残したい！」という鉄瓶の湯気にも負けない熱い思いにより、作成に至りました。

グッズ担当：川崎 かおる、姉帯 智子

大会関連データ



医学情報サービス研究大会の組織と運営

1984年に、東京都養育院講堂で第1回図書館情報サービス研究大会を開催しました。この大会は、病院図書室研究会、ライフ・サイエンス図書館員研究会、日本端末研究会、生物医学図書館員研究会の4団体による合同研究大会として出発し、第3回札幌大会からは、独立した研究会として運営されるようになりました。第10回大会から、大会名称を医学情報サービス研究大会に変更し、医学、薬学、歯学、看護学、保健などの生命科学関連領域の情報サービスを中心に、専門性をより深く追求してまいりました。

2020年はコロナ禍により第37回大会を開催延期とし、2021年はオンラインで「MIS2021講演会」を開催しました。2022年は延期した第37回大会を、岩手からオンラインで開催します。これほどまでも長く続けてこられたのは、会員制度をとらず、参加される一人一人の方々の自覚と意欲によって形成されている点にあります。参加者は、所属機関を越えて自覚的に個人として集まります。会場では、それぞれが時には講師、時には受講者となって学び合います。『Learning from each other!』精神のもと、参加者も自然と運営に関わる手作りの研究大会であることが、継続してきた最大の理由と思われれます。

医学情報サービス研究大会の基本運営は幹事会で検討されていますが、実際の大会運営は、各回の実行委員会に委ねられております。実行委員会は毎回リセットされるため、大会プログラムもその回ごとに異なります。その結果、研究大会そのものが、常にリフレッシュされていることも、特徴のひとつといえます。

インターネットを介した情報技術の進歩により、社会は大きく変化しました。生命科学関連領域の教育・研究・臨床もその影響を受け様変わりしています。そのため情報サービスを提供する我々自身も、新しい知識や技術を取得・吸収しなければなりません。本研究大会は、その手助けができる場所として、今後とも発展させていくつもりです。

■医学情報サービス研究会幹事会

代表幹事

児玉 闕 (大妻女子大学教職総合支援センター)

幹事会メンバー

青木 仕 (國學院大學文学部日本文学科)
阿部 信一 (東京慈恵会医科大学学術情報センター)
及川 はるみ (聖路加国際大学学術情報センター図書館)
大谷 裕 (東邦大学医学メディアセンター)
小野 理奈 (東京工業大学研究推進部情報図書館課)
城山 泰彦 (順天堂大学本郷・お茶の水キャンパス学術メディアセンター)
黛 崇仁 (東邦大学医学メディアセンター)
谷澤 滋生 (特定非営利活動法人日本医学図書館協会中央事務局)

歴代代表幹事・大会長 [所属表記は代表幹事退任時]

後藤 久夫 (東京都福祉局福祉部)
井出 唯敬 (兵庫医科大学)
山崎 茂明 (愛知淑徳大学文学部図書館情報学科)
青木 仕 (順天堂大学図書館)

ご意見やご要望などございましたら、私たち幹事会メンバーまでお知らせください。

医学情報サービス研究会会則

(名称)

第1条 本会は、医学情報サービス研究会という。

(目的)

第2条 本会は、個人単位の自由な集まりを原則とし、参加者自身の研究発表による知識の共有と交流の場を提供することによって、各自の資質向上を図り、もって情報サービスの発展に貢献することを目的とする。

(活動)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる活動を行う。

- ① 年1回「医学情報サービス研究大会」を開催する。
- ② その他必要と認められる活動を行う。

(会員)

第4条 本会は、特に会員制度を有しない。

(代表及び幹事)

第5条 本会に代表一人及び幹事若干人を置く。

- 2 代表及び幹事の任期は1年とし、再任は妨げない。

(定例会)

第6条 代表は、毎年1回定例幹事会を招集する。

- 2 定例幹事会は幹事の5分の4の出席をもって成立する。
- 3 定例幹事会では、本会の運営に関する重要事項を協議する。

(研究大会)

第7条 年1回「医学情報サービス研究大会」を開催する。

- 2 開催地及び大会実行委員長は定例幹事会において決定する。
- 3 研究大会開催の経費の一部は、研究会より交付し、その他は参加費で賄うものとする。
- 4 その他については、別に定める。

(経費)

第8条 本会の経費は「医学情報サービス研究大会」の参加費、及び出版物の販売の益によって賄うものとする。

(事務)

第9条 本会の事務は、代表または幹事の属する図書館(室)において処理する。

(雑則)

第10条 この会則に定めるもののほか、本会に関し重要な事項は別に定める。

付則

この会則は、平成2年6月16日から施行する。

付則

この会則は、平成4年12月1日から施行する。

医学情報サービス研究大会の足跡 (1)

■ 図書館情報サービス研究大会 (第1回～第9回)

回	開催年月日	開催地 (当時)	会場施設	参加	出展	実行委員長	事務局長	天気(二日分)	
1	1984年6月2日～3日	東京都板橋区	東京都養育院 講堂	165名	—	後藤久夫	山崎茂明	晴	曇
2	1985年6月1日～2日	大阪府枚方市	大阪歯科大学 5階講義室	130名	—	井出唯敬	木下順一	曇	曇
3	1986年6月28日～29日	北海道札幌市中央区	札幌医科大学 臨床教育研究棟大講堂	126名	—	野口迪子	中山純一	晴	曇
4	1987年6月6日～7日	岡山県倉敷市	川崎医科大学 現代医学教育博物館	141名	—	湊泰子	河口澄子	晴	晴
5	1988年6月25日～26日	東京都板橋区	東京都養育院 講堂	184名	—	後藤久夫	奈良岡功	雨	雨
6	1989年6月10日～11日	大阪府大阪市中央区	大阪市立労働会館 小ホール	125名	—	殿崎正明	安藤孝幸	曇一時雨	曇一時雨後晴
7	1990年6月16日～17日	静岡県浜松市	クエート浜松 ホール	142名	6社	熊谷健治	山口直比古	曇時々雨	晴
8	1991年6月22日～23日	鳥取県米子市	鳥取大学医学部 記念講堂	100名	5社	宍道勉	青木仕	薄曇	曇一時雨
9	1992年5月30日～31日	京都府京都市山科区	京都市東部文化会館	209名	6社	岩本博 (兼任)		雨後曇	晴時々曇

■ 医学情報サービス研究大会 (第10回～第20回)

回	開催年月日	開催地 (当時)	会場施設	参加	出展	実行委員長	事務局長	天気(二日分)	
10	1993年6月19日～20日	東京都文京区	順天堂大学 有山記念館3階講堂	203名	—	奈良岡功	青木仕	雨一時曇	曇一時雨
11	1994年6月18日～19日	岩手県盛岡市	岩手医科大学 医学部臨床講堂および図書館	142名	3社	藤原紀子	金野早苗	晴後一時薄曇	曇
12	1995年7月1日～2日	長崎県長崎市	長崎大学医学部 第1講義室	95名	6社	喜多芳明 (兼任)		曇一時晴	雨, 雷を伴う
13	1996年6月29日～30日	愛知県名古屋市千種区	愛知県がんセンター 国際医学交流センター	206名	6社	熊谷健治	安田多香子	晴一時曇	曇一時雨後晴
14	1997年6月21日～22日	東京都文京区	東京医科歯科大学 5号館講堂	240名	10社	安藤越代	石井保志	晴後曇	曇一時雨
15	1998年6月20日～21日	鳥取県倉吉市	鳥取女子短期大学 A館3階309教室	104名	5社	上田京子	野原千鶴	曇後晴	雨一時曇
16	1999年6月26日～27日	神奈川県横浜市鶴見区	鶴見大学会館 メインホール	259名	10社	登坂善四郎 (兼任)		雨後曇	雨一時曇
17	2000年7月22日～23日	北海道札幌市中央区	札幌医科大学 臨床教育研究棟大講堂	159名	10社	平紀子	中山純一	曇後時々雨	雨一時曇
18	2001年6月23日～24日	愛媛県伊予郡砥部町	愛媛県立医療技術短期大学 教育棟北棟	160名	9社	野原千鶴	吉見八重	雨	曇後晴
19	2002年7月6日～7日	静岡県静岡市	静岡県立大学短期大学部 大講義室	250名	14社	田引淳子	小浜進	曇一時晴	曇一時雨
20	2003年7月12日～13日	京都府京都市上京区	京都府立医科大学 附属図書館・合同講義棟	270名	16社	宮本小夜子	山室真知子	雨後曇	雨

医学情報サービス研究大会の足跡 (2)

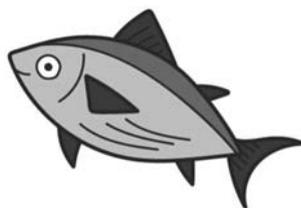
■ 医学情報サービス研究大会(第21回以降)

回	開催年月日	開催地(当時)	会場施設	参加	出展	実行委員長	事務局長	天気(二日分)	
21	2004年7月3日～4日	東京都渋谷区	国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟セミナーホール	355名	18社	児玉 閣	城山泰彦	晴	快晴
22	2005年7月9日～10日	愛知県愛知郡長久手町	愛知医科大学 本館たちばなホール	266名	18社	坪内政義	市川美智子	雨一時曇	曇
23	2006年7月15日～16日	千葉県千葉市稲毛区	千葉大学 けやき会館大ホール	322名	18社	谷澤滋生	加藤晃一	晴時々曇	曇一時雨
24	2007年8月25日～26日	長崎県長崎市	活水女子大学 4号館411教室	170名	13社	喜多芳明	森茂樹	雨後曇	晴時々曇
25	2008年7月12日～13日	茨城県つくば市	筑波大学 春日キャンパス講堂	278名	18社	小野寺夏生	岩澤まり子	晴	晴
26	2009年7月4日～5日	東京都港区	北里大学 白金キャンパス薬学部1号館1501講義室	305名	18社	宇野彰男	阿部京子	曇後一時晴	曇
27	2010年8月21日～22日	福島県いわき市	いわき明星大学 AV大講義室	161名	16社	佐々木克彦	石井美樹	晴	晴
28	2011年7月23日～24日	滋賀県大津市	滋賀県民交流センター ヒアザ淡海 大会議室	229名	18社	櫻井待子	菅修一	晴	薄曇
29	2012年8月25日～26日	東京都中央区	聖路加看護大学 アリス・C・セントジョンメモリアルホール	333名	17社	松本直子	及川はるみ・佐藤晋巨	晴	晴後一時曇
30	2013年7月6日～7日	沖縄県那覇市	沖縄県立看護大学 大講義室	144名	13社	大山努	古謝久美子	薄曇後晴	晴
31	2014年7月26日～27日	愛知県名古屋市千種区	愛知県がんセンター中央病院 国際医学交流センター	249名	15社	小嶋智美	市川美智子	晴一時曇	晴時々曇一時雨
32	2015年7月18日～19日	北海道札幌市北区	北海道大学 学術交流会館	189名	19社	松尾博朋	武田理香子	雨時々曇	曇一時雨
33	2016年7月2日～3日	長崎県長崎市	長崎市立図書館 多目的ホール	149名	15社	喜多芳明	下田富美子	曇時々雨	曇後時々雨
34	2017年8月26日～27日	大阪府枚方市	関西医科大学 枚方キャンパス 加多乃講堂	167名	15社	山田久夫	増田徹	曇一時雨	薄曇時々晴
35	2018年8月4日～5日	東京都渋谷区	国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟セミナーホール	300名	18社	大谷裕	阿部潤也	晴一時薄曇	晴
36	2019年8月11日～12日	福岡県福岡市東区	九州大学医学部 百年講堂	156名	18社	首東誠	福島真紀	薄曇時々晴	晴一時薄曇
-	2021年12月4日	MIS2021 講演会(オンライン開催: 幹事会、MIS37 岩手実行委員会)		189名	-	児玉 閣(大会責任者)		東京:快晴/盛岡:曇後みぞれ時々雪一時雨	
37	2022年7月16日～17日	岩手県紫波郡矢巾町	岩手医科大学(オンライン開催)		11社	川崎かおる	關山悦子		
38	2023年7月1日～2日	高知県高知市	オーテピア高知図書館(開催予定)			諏訪有香	依光朋子		
39	2024年								
40	2025年								

※ 参加者数は、実行委員会の公式発表数。公式発表を確認できない回は、参加者名簿当により推計(斜字体表記)。

天気は、気象庁「過去の気象データ検索」より、開催地都道府県気象台の天気概況(昼06:00-18:00)を記載。

22年ぶりに四国！
高知初開催！
対面でやれたらいいな！



第38回 医学情報 サービス 研究大会

高知大会

Learning from each other!

2023年7月1日(土)～2日(日)
オーテピア高知図書館

実行委員(2022年6月現在)

委員長：諏訪 有香(高知学園大学高知学園短期大学)

事務局長：依光 朋子(高知リハビリテーション専門職大学)

委員：西川菜穂(近森病院)

畠中智恵子(高知学園大学高知学園短期大学)

森 笑(土佐市立市民図書館)(五十音順)

大会主催のお願い

現在、大会を実行される主催者を募集しています。医学情報サービス研究大会は、1984年に東京都養育院講堂で開催された第1回大会以来、研究発表、生涯教育、情報交換の広場として、発展してきました。これは、大会会場の提供と実行委員会のご尽力によるものです。大会の場が存在してこそ、私たちは、ともに学びあい、率直に交流し、問題解決の方法を求め、心地よい時間を共有してこられました。大会を開催するには多大なエネルギーが必要です。しかし、実行委員会を組織して、プログラムを企画し、大会を実行することで参加者とは異なる楽しさ・達成感・充実感が得られます。みんなで作る当大会の継続と発展のために、大会主催者としての関与をご検討ください。

当初、参加者は150名前後でしたが、開催地によっては300名を超えることもありました。大会の組織や実行のために必要なノウハウや人材、活動資金など、これまでの大会からの蓄積もあります。もし実行のために支援が必要な場合は、幹事会メンバーや多くの仲間が協力できます。プログラムについては、特別講演や継続教育コース、特定テーマのシンポジウムなど、実行委員会の裁量で企画できます。一般演題はポスター発表を含め、新しい人々の申し込みを得ています。情報サービスの専門職として、企業とのパートナーシップも形成しています。新しい製品やシステムの紹介は、展示ブースだけでなく、プロダクトレビューの場で口演されています。これにより、一般演題やポスター演題は、研究発表や事例提示を中心にして、マーケティングのための商業発表と区別されることになりました。2022年の第37回大会は、オンラインで開催しました。

大会運営のための経費は、主に参加者の大会参加費に依存しています。企業からの展示収入も寄与していますが、主催者側と企業との適正な関係を育成していくつもりです。懇親会や大会グッズなどは、学びあうだけでなく、楽しめるプログラムとして位置づけています。

これまでの大会運営にあたり、財政支援のともなう他組織からの後援を受けていません。私たちは手作りであることを大切にしており、今後とも自由な個人の力を組織した大会として継続させたいと願っています。

“Learning from each other!”。大会開催についてご相談がございましたら、ぜひ幹事会メンバーへお知らせください。

*これまで開催された大会のプログラム、記念写真、開催報告一覧を、医学情報サービス研究大会ウェブサイト (<http://mis.umin.jp/>) でご覧いただけます。
ぜひ一度お越しくください。



第 37 回医学情報サービス研究大会抄録集

発行日	2022 年 7 月 16 日
発行者	川崎 かおる
編 集	第 37 回医学情報サービス研究大会実行委員会

